

〈調査報告〉

松島トミさんの口承文芸 3

大 谷 洋 一

- 目次 1. まえがき
 2. 凡例
 3. イワウのウエベケレ
 3-1 筆者によるあらすじ
 3-2 語り手によるあらすじ
 3-3 本文
 4. 註

1. まえがき

本稿は、1922（大正11年）に沙流郡門別町で生まれ育った松島トミ（旧姓：海馬沢）さんがウエベケレ uepeker（散文説話）と呼んでいるアイヌの口承文芸1編のアイヌ語テキストと日本語訳である。松島さんの生い立ちについては、当研究紀要1号の1995「松島トミの伝承」に記している。

この物語を要約すると「海の神がイワウ⁽¹⁾山にいた偉い神を妬んで喧嘩をしかけたところ、イワウ山の神が怒って天上の世界へ去って行った。その後、イワウ村の住民は悪い神々に苦しめられて飢饉になった。天上にいたイワウ山の神は自分の代理として息子の家族をイワウ山へ行かせた。その息子夫婦は人間に食物を与えて助け、悪い神々を懲らしめた。しかし、その夫婦の娘は人間に恋をして福寿草にされてしまった。」となる。

松島さんはこの物語のことを「イワウのウエベケレ」や「イワウノソノのウエベケレ」と呼称することが多い。本稿では前者を標題にしている。

この口承文芸の伝承と採録の経緯は、以下の通りである。

- ① 1932（昭和7）年頃、門別町豊田で父方の曾祖母・海馬沢オヤベ（当時70才以上）から松島トミが聞いた。
 ② 1998（平成10）年、松島トミと筆者が植物に関する散文説話について話していた際、この物語のあらましを思い出した。しばらく口演の練習をしてから録音する約束をした。

- ③ 2000(平成12)年2月26日、松島トミから日本語によるあらすじを筆者が録音(資料番号:993)した。
- ④ 2000(平成12)年3月26日、松島トミからアイヌ語による口演(資料番号:994)と日本語訳(資料番号:124、本報告)を筆者が録音した。
- ⑤ 2000(平成12)年4月21日、松島トミから再びアイヌ語の口演(資料番号:995、本報告)を筆者が録音した。

本稿はモニターの方々のご指摘により、数多くの誤りを正しました。誤植等の指摘も含めると膨大な量になり、それらを註で明らかにすることは非常に煩雑になるために明示しませんでした。不十分な状態の原稿に目を通してくださったモニターの方々に心から感謝しています。

2. 凡例

- (1) 本文は二段組みとしてアイヌ語による語りの部分を左側に、その語句の日本語訳を右側に記す。
- (2) アイヌ語のカタカナ表記はなるべく実際の発音に近いように記し、アイヌ語のローマ字表記は音素交替やわたり音とみなしたものを記さない。例:ポイセタ アンマ pon seta an wa
- (3) ローマ字表記の小文字はアイヌ語であり、大文字は日本語である。アイヌ語原文中のひらがなは日本語である。
- (4) ローマ字は一語とみなしたものを単語ごとに分けて記す。
- (5) []内に聞き手の発言や補足事項を記す。()内に言いさしや咳払い等を記す場合がある。採録者が発したアイヌ語はローマ字表記しない。
- (6) 語句の解釈が今なお不確実な場合は語尾に ?? を記す。

3. イワウのウエベケレ

〈筆者によるあらすじ〉

イワウ山の近くにあるイワウ村に住んでいた村おさと息子の長男が物語る。

イワウ村の村おさである私も長男も狩猟の名人だったので何不自由なく暮らしていたところ、イワウ山で神々が喧嘩をしているらしく大きな音が響きわたるようになりました。それから二、三日たって息子たちが山猟から帰ってくると「イワウ山の神の家がなくなった」と言います。私が確かめに行くと、本当に家がなくなっていたので心配しながら暮らしていたところ、山すそに蔓の屋根の大きな家が出来てそこに悪い神が住みつきました。毎晩、その悪い神々〔若いキツネたち〕が人間の家を襲うようになったので、私は家族を守るために矢を放って悪い神を追い払いました。疲れきって情けない気持で暮らしていると息子たちが「イワウ山の上に立派な神の家が出来た」と言い

ます。山に行くと本当に立派な家が建っていたので喜んで山のふもとに祭壇を建てて祭りました。悪い神も良い神が来たことを知ったようで人間の家を襲わなくなりました。ある日、私の夢に現われた神が「私の父はイワウ山を守る神であったが、海の神に喧嘩を売られたため、怒って天に昇ってしまった。その後でイワウ村が飢饉になったので、父の言いつけで私が来たのだ。悪い神が食物の魂を隠したため飢饉になったのだ。そこで、お前たちを助けるから、イワウ山へ若者たちを寄越しなさい。私が降ろした綱を掴めば、引き上げてやろう。」と言いました。村の若者たちが山の近くへ行くと、神が降ろした綱で山上に引き上げられました。そこにいた女の神はいろいろな山菜の食べ方や植えつけ方を教えてから、畑の食べ物を収穫させてくれました。不思議なことに、それは切っても切ってもすぐに伸びました。大きな荷物にして持ち帰った山菜を神に感謝しながら食べて神に感謝しながら暮らしていましたが、再び悪い神が食べ物の魂を隠すようになりました。再び夢に現れた神が「魚の油をとって売っている村おさがいる村⁽²⁾へ保存していた肉を持って行けば、魚の油と交換して貰えるはずだ。足の速い息子を行かせなさい。」と言いました。その村おさは昔からの知り合いでもあるので、そこへ行くように息子を諭しました。

〔ここから息子が物語る〕

私は山菜や干し肉を持って出発しました。その村が見える川のそばで弁当を食べていると一匹の痩せたキツネ〔悪いキツネの親〕がやって来て、私の方をじっと見ていました。肉を与えるとキツネは感謝するかのように泣きながら頭を上げ下げしました。「人間には悪さをするなよ。」と諭してから、私はその村へ行きました。村おさと挨拶を交わしてから山でとれたものを贈ると、とても感謝されて魚の油の入った一斗缶を二つくれました。その重たい荷物を持って帰る途中で休んでいると、帰りが遅いのを心配した弟が迎えに来たので二人で荷物を背負って帰りました。さっそく母が魚の油を入れた山菜汁を作って村中に配りました。山菜がなくなると、再びイワウ山へ行って山菜をとって食べて暮らしました。油をくれた村出身の、よく働く娘を嫁にして暮らしていたところ、悪い神の家は良い神に燃やされてしまいました。私の父親たちは悪い神〔若いキツネたち〕に粗末な御幣と酒かすで祭りながら「良い行ないをすれば美しい御幣と美味しい酒で祭ってやるからな」と大雑把に祈りを捧げました。その一方でイワウ山を守る神の娘は人間の男に恋をしたのですが、許されずに福寿草にされてしまいました。

〈語り手によるあらすじ：16分30秒間〉

イワウ村ちゅうとこ、あるんだと。イワウ村って
そこに、こんどー、イワウ ヌブリ nupuri [山] ちって言うけども
イワ iwa [山] なんだわ。あるんだって、でっかい、山あるんだと
そしてそこで、あの神さん、守り神さん、その、イワ iwa やら
コタン kotan [集落] まお、、部落まお、、あれする神さん、いたはずだのにー
こんど、そのイワ iwa を作ったり、部落作ったりする神さんーと

他のやきもち妬く神さんら、喧嘩して、喧嘩して
雷さんみたくな音して、喧嘩して、こんど、なんーもこんど
跡、その家のかた〔形〕もないば、なんもないで
そのイワ iwa だけあるだって、そして、それから、はー、こんど、もい、
ふっふふ、アイヌ語使ったらこんど、シャモ samo〔和人〕の言葉い、
つかかってくるっしょ。(咳払い)
そして、あー、こんど、その、イワ iwa のすまっこ〔ふもと〕に
悪いー、ま、最初、ばれるけど、キツ、キツネの意地の悪いもんら
そこに巣くんで、いるようになったんだって、そして
もう、どうにもならない、くて、畑もの少しでも播けば
もう、みーんな、あー、ほちゃらかされてしまって
もう全然こんど、どうにもならんだと、そしてや、もう
茅、茅の屋根からー、ぐるわ〔周囲〕から
茅の家だのに、その家破って来るようにも、気になってやもう
夜いっぱい、その家の主人公は寝ないで
若い人らはもう、若いもんだからー、寝てしまう
そしてこんど、その若いもんのあと守るために、自分は寝ないで(咳払い)
番べ〔見張り〕して、そやってして、それら来れば、ぼったくってやー〔追い払う〕
大勢なもんだから、あっちの家、こっちの家でしてるみたいで
みんな、寝ないでや、そやってして、年増の人らは番べして
若いもんら助けたくて番べしてるのに、それもわからんで
そしてもうもう、悪いことばかりする、神様あとでも、
どうすることも出来へんくて、こんど神、神様に、酒やらで、
御幣作ってやー、それで、神頼みしてや、なんとか助けてー
その神さんら悪いことばかりして、どうにもならんからちゅうー
こと言って、こんど神頼みして、なんとか助けてって、言いながら、
カムイノミ kamuinomi〔神に祈る〕してやー、そやってしていたんだけど
こんど、何年かたって、途中にこんどー、そのイワ iwa の上でー
すっばらしい家建った建ったって、若いもんら騒いでるから
どうなった話だべなと思ってー、ほんとのこと言ってんのか
目の錯覚かと思ってや、こんど、杖ついて、
そのふもとまで行ってみてー、見て、上さ見たけ
ほんとにソノ sonno〔ほんとうに〕、まあまあ立派な
神様、ほんとにいるちゅうー、ような立派な家建ってる
あー、この、イワ iwa 守る神さんが降りてきたなーと思って

ソン、喜んでそこでもう、手あわして手あわして（咳払い）
 そしてこんど、ありがと言って、頭下げて下げて、そして来てこんど
 部落のじさまらにみんなに、こうこうだっということを一、意味教えて
 そしてこんど、みんなで酒つくったりー、御幣つくったりしてー
 その、イワ iwa のふもとさ行って、こんどー、その御幣並べて立てて
 そこさ、いろいろなもの祭って、ありがと言って
 これからもこの部落守ってちょうだい、
 この、はー、川も大水出ないように、沢水も、大水出ないように
 絶対守ってほしいちゅうこと頼んで、そして、みんなでこんどー
 いかった、いかったって喜んで下がって来て、してたけ、こんど
 途中からこんどー、あー、食べ物もなんも、山へー、マタギ〔狩り〕に
 行ってもー、ウサギの一匹も若いもんら獲ってこない
 川さ下りても、魚の一匹も捕れない。もうー不作になってしまっ
 まあ、全然、もの播いても駄目だー、全然食うもんなくて
 年寄りらは死ぬもの死ぬ。あー、力のないものは死んでいくー、
 もう、このコタン kotan も、もう駄目だな、この部落も駄目だなと思って
 もう、情けないーながら、あー、いたけー、
 そのイワ iwa の守り神さんがこんど、夢見せたけー
 こうこうに、イワ iwa のとこさ来れば、綱下げるから、そこさ
 5人でも6人でも一辺には上げられんから、その綱おさえて上がれば
 食べ物あるから、したから、初めて、今初めて、ま、播いた種だから、な、
 お前、この部落もイワ iwa も守るために自分、降りて来たんだから
 したから、そうすれーちって夢見せたもんだから
 こんど若い者あとー、その部落の若い人がたみんなに、教えて
 そしてこんどー、みんなで行って、したら、6人か7人ぐらい
 その縄さ、つながさって、上さ引張られるんだと
 人間もいないんだけど、引張られて上がるんだと、そしてこんど
 そいつの人がた上がったらこんど、はー、また綱下りてきて
 残った人がた、こんどまた、それさつながさって上がったところさ
 今まで見たこともないーものばかり（咳払い）、もうーもうもう
 ほんとに今まで、それっこそ夢にも見たことないー、畑、しろいー〔広い〕
 〔山菜を〕なんぼ切っても切っても、すぐ、出てくるんだって
 その神様みたいな女の人が一所懸命になって説明するんだと
 自分たちがー、来て、こやってして、娘と息子とだんなど4人でこれだけ
 拓いてももの播いたんだから、したからー、これはフキだ、これはフキノトウだ

これは、あ、あ、あれだってみんな教えて、これはコゴミっていうもんだ
これは、あのフキノトウっていうもんだって
そのマカヨ makayo [フキノトウ] やら、ソロマ sorma [コゴミ] の名前
みんな教えて、これはキトピロ kitopiro [ギョウジャニンニク] だって
お汁さ入れたら、出し汁いいくて、すごく美味しいんだって言って
教えて、全部その食い方から教えてくれた (咳払い)
その神様の女の人が教えてくれるもんだから、こんど、みんなして
それ切って、なんぼ切っても切っても、それ減らないもんだから
呆れるながら切って、十何人も二十人も近くにしてい、上がって行くのに
そやってして、切っても切っても、減っていかないんだと
たいした切ったと思うんだけど減っていかない
いやー、もう、こんーな、ありがたい食べ物あるところに
ほんとに悪いことさえない、根性いいば、こやってして、
恵まれるんだなーって思って、喜んで、こんどー、切って
もう背負っていけないから、もう、いいわちって、
その荷物もいつのまか、切るかたっぱし、ないんだと
切ったと思えばない、切ったと思えばない、してたけ
いつのまにか、下さ、みんな下りてる、もんだから、こんど
ほんとにもうもうもう、ほんとに神さん、助け神だって、したら
その食べることから、こやってこやってして
その、皮でも、根、あの、葉っぱでも埋ければ、そこから
自分らのあれで一、出てくるから、そやってすれば
ここまで上がらんくても、毎度、食えるからって、教えられるもんだから
なんにも無駄しないで、そやってして、畑の縁ずっと
その葉っぱでも、葉っぱも食えるもんだと思って
葉っぱつけて、も、きたけども、そやって教えられるもんだから
みんな、畑、下水 [溝] に掘って、そこさ埋けて、ずっと畑のくるい [周り] は
そやってして、は一、埋けてって、その、コタン kotan にみんな
埋けない [埋けることができない]、若いものいない人には分けてやって
そやってして、きれーいに、ゆでてこんど、葉っ葉汁したり
昔はイワシ油あるもんだから、そのイワシ油、買いにわざわざ
その舟持つてる人らのとこさ行ってい、磯舟で一、魚釣ってくるとこさ行ってい
分けてもらって、そして、それでお汁炊いてやー
米ちゅうものも見たこともない、食ったこともないで一、そやってしてたけ
こんどー、そのピヤパ piyapa [ヒエ] の種、やるから

それを植えれば一、その、イワ iwa のとこさ来れば、降ろすから
 みんなで分けて一、若い者いるんだから、一所懸命、どか、土方して一
 それを（咳払い）播いて秋になれば一、春播けば、秋になれば穂つくから
 それを、鎌で刈って一、そして、干せば、きれいにあれするから
 こんど臼で搗いて、すれば、皮剥けるから、そやってすれば
 おかい〔粥〕にしても一、飯にしても食えるから、そやってすれって教えられて
 夢にその、酋長が夢見たもんだから、こんどそのイワ iwa の下さ一
 こんど若い者行かせて、そして、したけ、ソンノ sonno〔ほんとうに〕
 大きな荷物して下がって来て、こんどそれみんなで
 コタン kotan、部落いっぱい分けて、その無駄しないで
 頑張って畑作るべちゅうことで、みんなでその畑も分けて、は一、
 トンガ tonka〔鋤〕起こして、そして、大勢なとこは大勢のように
 畑もしろく〔広く〕起こせる、そうゆうふうにして一、植えてしたけ
 ほんとに、秋になったけ、もう、穂のでっかいの一、採れるもんだから
 それこんど、穂のとこだけ切って一、そして、こんどみんな干して、そしたけ
 きれ一いに乾いたもんだから、こんどその、ニー ni〔木〕、そ、
 ぼっこのとこ〔茎〕はこんど、みん一な刈って、こんど、ちっちゃく鉋で切って
 そしてこんど肥やし一に畑起こして、そこさ、入れておけば、
 きれいに腐れてしまっ、するもんだからこんど、種だ一け置いて一
 そうゆうふう植え〔ると〕、や、毎年食うもんに不自由なく一、
 その、イワ iwa の神さんのおかげでそやって、食べ物、
 授けてもらって、その悪いことするやつらの家は焼けてしまったし一、
 するもんだから、こんどそこへ、行って祭って、そしたけ、
 それら一〔キツネ〕の親たちも泣きながら、息子たち悪い、
 子供ら悪いおかげで、こやってして、自分らは一
 なんもそんな悪いことしないで、守られて、なんでも自分らの好きなもの
 おぼえたもの上げてくれる、そしていたもの
 そやって〔キツネの子たちが〕悪いことばかりするもんだから、
 ほんとに、もうもうもう、ほん一とに、ピッカ pirka〔美味しい〕さ、酒も
 飲ましてももらえない、イナウ inaw〔御幣〕ももらえないでいたもの
 ほんとに、謝りして、その一、キツネの親さは、謝りして来て
 夢に見せてくれて、それから、こんどその、子供らはどんでもいいからちって
 それからその稲荷さんちゅうものも祭るようになったし
 子供ら悪くても親たちは、狸師でも、もう
 ノミ nomi〔祈る〕してもらえなかつ、祭ってもらえなかったから

あの、なんも魚も、漁出来なかったんだ一ちゅうこと夢に見せて
くれた一っていう、うっふふ、。。

〈本文：44分31秒間〉

イワウコタン、あー、コ、コタン

iwaw kotan, (A, ko,) kotan

ポロコタン インネコタン

poro kotan inne kotan,

イワウコタン ちゅうとこ

iwaw kotan TYUU TOKO

イワウ村、村

大きい村、大勢の人がいる村、

イワウ村というところが

あるんだとわ、さ。(笑い)

あるんだとわ、さ〔日本語で語る〕。

〔聞き手：アコロイタカニ クヌルスイ〕

〔聞き手：アイヌ語で聞きたい。〕

はーあ、イワウヌプリ セコロ アイエー

iwaw nupuri sekor a=ye

ポロ ヌプリカ アン

poro nupuri ka an

ポロコタン アンネヒネ

poro kotan an (ne) hine⁽³⁾

オカアンペ アネ

oka=an pe a=ne

コタンコル ニシパ アネヒネ

kotan kor nispa a=ne hine

オカアンペ アネーヒケ

oka=an pe a=ne hike

ネッ アコルスイ

nep a=kor rusuy

ネッ アエルスイカ ソモキノ

nep a=e rusuy ka somo ki no

オカアンペ ネ オラ はー、

oka=an pe ne ora (HA,)

イワウ山と呼ばれる

大きな山もある

大きな村があつて

私は暮らしていました

私は村おさとして

暮らしていましたが

何を欲しいとか

何を食べたいとか思わずに

暮らしていて

アポウタリ カ
 a=poutari⁽⁴⁾ ka
 ポロンノ オカイペネクス
 poronno okay pe ne kusu
 キヤンネクル アナク
 kiyanne kur anak
 エアルキンネ ケマトウナシワ
 earkinne kema tunas wa
 エキムネ ヒケカ は一
 ekimne hike ka
 アトゥラワ エキムネアン ヒケカー
 a=tura wa ekimne=an hike ka
 ソンノ ニタンベネクス
 sonno nitan pe ne kusu
 アイホッパランケ コル
 a=i=hoppa ranke kor
 エキムネアンワ エアラキンネ
 ekimne=an wa earkinne
 ユプテク、ン、は一、わらしネワ
 yuptek, (n, HA,) WARASI ne wa
 エアラキンネアン イソン
 earkinnean ison,
 アシヌマカ イソナン
 asinuma ka ison=an
 ソンノ、ポロシケ アキヒネ
 sonno, poro sike a=ki hine⁽⁵⁾
 サナン ランケ ペネクス
 san=an ranke pe ne kusu
 アエブ アナク エアルキンネ
 aep anak earkinne
 アコンルスイカ ソモキノ
 a=kor rusuy ka somo ki no
 バテク オカアンペ アネー ヒケ
 patek oka=an pe a=ne hike

私の子供たちも
 たくさんいたので
 長男というのは
 ほんとうに足が速くて
 山猟に行っても
 私が連れて山に行っても
 まったく足が速いものだから
 私の方がしょっちゅう置き去りにされ
 山へ行ってもほんとうに
 よく働く息子で
 とても狩が上手であった。
 私も狩が上手であった。
 とても大きな荷物を作って
 山を下りるのが常であったので
 食べ物というのはまったく
 欲しいとも思わないで
 ばかり暮らしていたものでしたが

はー、へムトムアニーワノ

(HA,) hemtomaniwano

マッアンペクス ふー、イワウ ヌプリ⁽⁶⁾

mak an pe kusu (HU,) iwaw nupuri

ソンーノ カムイ ウコイキ ハウネヒ

sonno kamuy ukoyki haw ne hi

アエラマンノ エアラキンネアン (咳払い)

a=eraman no earkinnean,

うん、はー、カムイフムネノ カネー

(UN, HA,) kamuyhum neno kane

アルコテレケ アルコサカヨカル

arukoterke arukosakayokar⁽⁷⁾

ポロー (や、) ヌプリ ネッ

poro (YA,) nupuri ne p

オラーヘネ アスイエスイエ

ora hene a=suyesuye

エアラキンネアン キーコル

earkinnean ki kor

トゥツコ レルコ シランコル

tukko rerko siran kor

こんど アポウタリ

KONDO a=poutari

エキムネワ アルキバー アクス あ

ekimne wa arkipa akusu, (a)

ヌプリ エプンキネカムイ

“nupuri epunkine kamuy

チセカ イサム ルウェネー セコロ

cise ka isam ruwe ne” sekor

ハウエオカバコロ アルキバ ランケ

haweokapa kor arkipa ranke

アエヤモクテッ ネクスー

a=eyamokte p ne kusu

オロワノ ソンノ ヘネヤ

orwano sonno he ne ya

最近

どうしたものか、イワウ山 [から]

本当にカムイの争う声というのが

わかるような、ほんとうに

雷の音のように

取っ組み合ったり怒鳴ったりした

大きな山でしたが

それからまた揺すられた。

まったく、そうしながら

二、三日たつと

こんどは私の子供たちが

山猟に行つて来ると

「山を守るカムイ

の家がなくなっていた」と

話しながら来るのが常であった。

私は変だなと思ったので

それから本当なのかどうか

セコロ ヤイヌアンペネクス
 sekor yaynu=an pe kusu
 アルパアンー ヒネ ヌブリ カランケ
 arpa=an hine nupuri karanke
 アルパアンヒネ インカラニケ
 arpa=an hine inkar=an hike
 ソンノボカ カムイチセ
 sonno poka kamuy cise,
 ポロチセ イサム ルウェネ
 poro cise isam ruwe ne
 エアルキンネアン アエキマテッ、はー
 earkinnean a=ekimatek (HA,)
 エネ コタン エプンキネ、ヌブリ (エヌイ、)
 ene kotan epunkine, nupuri (enoy,)
 エプンキネワ アン カムイ
 epunkine wa an kamuy
 ヒナクン ヤイケッテ
 hinak un yaykeste
 ヘマンタ カムイ エッワ
 hemanta kamuy ek wa⁽⁸⁾
 エネ (咳払い) アルコサカヨカル コル オカ
 ene arukosakayokar kor oka
 アイーネ イッ、ヤイケッテワ
 ayne (is,) yaykeste wa
 イサムルウェネヤ セコロ ヤイヌアン
 isam ruwe ne ya sekor yaynu=an
 エアラキーンネアン ア、
 earkinnean
 アエキマテッペネクス こんど ク、
 a=ekimatek pe ne kusu KONDO (ku,)
 チセオッタ エカンヒネ
 cise or ta ek=an hine
 カムイフチ アバエテンケ
 kamuy huci a=paetenke

と思ったので
 出掛けてその山の近くに
 行って見たところ
 ほんとうにカムイの家が、
 大きな家がなくなっていた。
 私はとても驚いた。
 このように村を守り、山
 を守っていたカムイが
 どこかへ行ってしまった。
 なんのカムイが来て
 あのようにひどく怒鳴りつけていた
 あげくに去って
 しまったのかと私は思った。
 とても
 私は驚いたので
 家に帰って
 火の神様に私は指図した。

マカンベクス エネ

"mak an pe kusu ene

ヘマンタ カムイ トウラ

hemanta kamuy tura

ウコイキバワ エネ カムイ

ukoykipa wa ene kamuy

ヤイケシテワ チセボカ

yaykeste wa cise poka

イサム ルウェネヤ セコル

isam ruwe ne ya" sekor

ハウェアナン コル キコロ

hawean=an kor ki kor

アナン アーイネ

an=an ayne

シネアンバ トッパ シランコル こんど

sine an pa tu pa siran kor KONDO

アボウタリ エキムネワ アリキパコロ あ、

a=po utari ekimne wa arki pa kor (A)

ヌブリー ケシター ヘマンタ

"nupuri kes ta hemanta

ウエンカムイ ネヤー

wen kamuy ne ya

ヘマンタ ネヤ アエラムベウテッ

hemanta ne ya a=erampewtek,

ウエンカムイ ヘヤ カムイネヤー

wen kamuy he ya kamuy ne ya

アエラムベウテッペ えー、

a=erampewtek pe (e)

ブンカル チセ ポロチセ

punkar cise poro cise⁽⁹⁾

カルバワ オロタ インネバワ

kar pa wa oro ta innepa wa

オカルウェネー セコル

oka ruwe ne" sekor

「どうしてこのように

なんのカムイと

喧嘩して、このようにカムイが

家から去ってその家も

なくなってしまったのか」と

私は言いながら

暮らしていると

1、2年たってから

私の子供たちが山獺に行ってくる

「山裾にどんな

悪いカムイなのか

何なのか私が知らない、

悪いカムイなのか〔良い〕カムイなのか

わからないものが

蔓の家、大きな家

を作ってそこで大勢で

住んでいた」と

ハウェオカバコロ サッパランケ
 haweokapa kor sap pa ranke
 エアルキンネ ヌ、ネ ヌブル、
 earkinne (nu, ne nupur,)
 ヌプリ (咳) エブンキネ カムイカ
 nupuri epunkine kamuy ka
 イサム ヒ エラムオカ ペコロ
 isam hi eramoka pekor
 エネ ウエン カムイ
 ene wen kamuy
 ウェカルバ ヒアン セコロ ヤイヌアン
 uekarpa hi an⁽¹⁰⁾ sekor yaynu=an
 エアラキンネ アエしんばい コタン
 earkinne a=eSINPAI kotan
 アエしんばいコル バテタ ウエン、
 a=eSINPAI kor patek (wen,)
 ウエンプリ コルバ ソモキーバ
 wen puri korpa somo kipa
 タッ ピリカ す、するもんなー
 tap pirka SURUMONNA
 セコル ヤイヌアンー コル
 sekor yaynu=an kor
 カムイ シカオビウキレ アキー コロ
 kamuy sikaopiwkire a=ki kor
 アナン (咳払い)
 an=an (AHAN,)
 ケシト オカアナイネ、 、アクス
 kesto oka=an (ayne, ,) akusu
 ソンノ ポカ ネー ウエンカムイウタラ
 sonno poka ne wen kamuy utar
 クンネアンコル アルキーバ ワ
 kunnean kor arkipa wa
 キー チセ ネブ チセトゥマム はー、
 ki cise ne p, cise tumam

言いながら出て行くのだった。

ほんとうに

山を守るカムイも

いなくなったことを知ったかのように

このような悪いカムイが

集ってきたのだと私は思った。

ほんとうに私はそれを心配し、村

を心配してばかりで

やつらが悪い行ないをしない

といいのにな⁽¹¹⁾

と思いながら

カムイに守ってくれと頼みながら

私は暮らしていた。

毎日、そのようにしていたところ

ほんとうにその悪いカムイたちが

夜になるとやって来て、

カヤの家であったが、家の壁

オブシバワ アフツバルスイクス	
opuspa wa ahuppa rusuy kusu	に穴開けて入りたいため
エアルキンネ イソモモコレバ	
earkinne isomomokore pa	まったく誰も眠らせない。
クンネ ヘネ わく、、う、、	
kunne hene (WAK,, U,,) ⁽¹²⁾	夜も
ペウレ ウタラ アナク ホッケワ	
pewre utar anak hotke wa	若者たちは横になって
イサムバラ、、シンキバツネクス	
isampa wa,, sinkipa p ne kusu	しまって、、疲れていたのだ
ホッケワ イサムバ オカケタ	
hotke wa isampa okake ta	横になってしまった後で
オンネヅ パテク モン	
onne p patek mos ⁽¹³⁾	年寄りばかりが起きていた。
アフツバワ アイライケしても	
ahuppa wa a=i=rayke SITEMO	やつらが家に入って人が殺されても
アエナサケナイベネクス (は一、、)	
a=enasakenay ⁽¹⁴⁾ pe ne kusu (HA,,)	それも情けないことなので
モコルアンカ ソモキノ	
mokor=an ka somo ki no	私は眠らないで
エネ、オカアン ケスクラン キー	
ene, oka=an kesukuran ki	このように、毎晩
アコ、、ヤイラメコモ	
a=koyayramekomo	私はどうすることも出来ない
アキコル ネヤッカ、、オカアン	
a=ki kor ne yakka,, oka=an	で暮らしていた。
ヤアニ (咳払い) アチョツチャパ コル	
YA ani a=cotcapa kor	私が矢を彼らに射当てると
キラバランケ キリリセ コル	
kirapa ranke kirirse kor	いつも逃げた。金切り声をあげながら
キラバランケ ヤッカ スイ	
kirapa ranke yakka suy	逃げ続けても、また
インネバツネクス ペウレウタル	
inne pa p ne kusu pewre utar	たくさんいるので若いやつらが

スイ アルキ パー ランケ
 suy arki pa ranke
 ケスクラナンコル エネ
 kesukuran an kor ene
 はー、イソモモコレコロ
 isomomokore kor
 アエラムペカマム エアラキンネ キワ
 a=erampekamam earkinne ki wa
 アエなさないコル
 a=eNASAKENAI kor
 オカアンペ アネー ヒケ (咳払い)
 oka=an pe a=ne hike
 スイ ヘムトムアニ、アニワノ
 suy hemtomaniwano
 アポウタリ ハウエオカヒ
 a=poutari haweoka hi
 ビリカ カムイチセ ヌブリカタ
 “pirka kamuy cise nupuri ka ta
 アン ルウェネー セコロ ハウエオカバ
 an ruwe ne” sekor haweokapa
 エアラキンネ アエヤイコブンテッ コル
 earkinne a=eyaykopuntek kor
 ネンボカ パイエアンワ
 nen poka paye=an wa
 インカランタ キ セコロ
 inkar=an ta ki sekor
 ヤイヌアン ベネクス こんど
 yaynu=an pe ne kusu KONDO
 アルパアン ヒネ、、アクス
 arpa=an (hine,) akusu
 ソンノ ボカ カネチセ ポロチセ
 sonno poka kane cise poro cise
 ビリカ ミケミケ チセ
 pirka mike mike cise,

何度もやって来た。
 夜になると、このように
 人を眠らせずに
 困り果てて
 情けない気持ちで
 私が暮らしていたところ
 また、いつの頃からか
 私の息子たちが言うには
 「良いカムイの家が山上に
 出来た」という話であった。
 私はとても喜ぶと
 なんとかして、そこへ行って
 みたいものだ
 思ったので
 そこへ私が行くと
 ほんとうに立派な大きな家が
 美しくピカピカ光った家が

ヌプリカタ アン ルウェ	
nupuri ka ta an ruwe	山の上にあったのを
アスカンルウェネ	
a=nukar ruwe ne	私は見たのであった。
エアルキンネ アエヤイコブンテッ	
earkinne a=eyaykopuntek	とても私は喜び
オンカミアンコロ チサンコル	
onkami=an kor cis=an kor	礼拝をして泣きながら
ア、イヤイライケ イタッ	
iyayrayke itak	感謝の言葉
アイェア アイェア コル	
a=ye a a=ye a kor	を重ねて言うと
ホシピアン ヒネ アルキアン ヒネ	
hosipi=an hine arki=an hine	私は家に戻って帰って
イナウケアン ヒネ	
inawke=an hine	御幣を削って
コタンコル オンネプウタラ	
kotan kor onne p utar	村の長老たち
アトゥラヒネ は一、ヌプリチョブ、	
a=tura hine (HA,) nupuri (cop,.)	を連れて山の
チョルボクター バイエアンヒネ	
corpok ta paye=an hine	ふもとに行って
イナウチバ アカンヒネ オロタ	
inaw cipa a=kar hine oro ta	祭壇を作って、そこで
イナウ ア、ア、アアッテ ヒネ こんど	
inaw a=aste hine KONDO	御幣を立てて
カムイノミアン	
kamynomi=an	カムイに祈った。
ヌプリ エブンキネカムイ	
“nupuri epunkine kamuy	「山を守るカムイよ
イヤイライケレ セコル アン イタッ	
iyayraykere” sekor an itak	感謝します」という言葉
アイェア アイェア	
a=ye a a=ye a	を捧げ続けた。

チットゥラ スベトゥラ

cis tura nupe tura

イヤイライケ イタッ アイェア アイェア

iyayrayke itak a=ye a a=ye a

アイネ こんど ホシビアン ヒネ

ayne KONDO hosipi=an hine

エク、 、アナクス ネ カムイ アンヒ

ek=an akusu ne kamuy an hi

エラムオカワ ネ ノイネ

eramoka wa ne noyne

クンネ アンチカラ アナク

kunne ancikar anak

アルキバ イサム、ワー

arkipa isam wa

ボンノ ボカ モコルアン アクス

ponno poka mokor=an akusu

トゥ ウェンタラッアナクス

tu⁽¹⁵⁾ wentarap=an akusu

アシヌマ アナク (ター、)

"asinuma anak (ta,)

タバン スブリ エアルキンネ

tapan nupuri earlinne

アエセマンヌアン スブリ ネッ、

a=esemannuan nupuri⁽¹⁶⁾ ne p,

オラ エブンキネ カムイ

ora epunkine kamuy

アオナハ ネワ アン ベ

a=onaha ne wa an pe

レブンクル カムイ イコッキアニー

repunkur kamuy ikotki ani⁽¹⁷⁾

エネ (咳払い) アオナハ コサカヨカル

ene a=onaha kosakayokar

ウコテルケバ アイーネ

ukoterkepa ayne

泣きながら涙とともに

感謝の言葉を何度も言った。

そうして私が帰って

来ると、そのカムイが現れたことを

やつらが気付いたらしく

夜になっても

やって来なくなって

ほんの少し私が眠ると

夢を見たら

「私というのは

この山がとても

恐れられている山であったのだが

それから、そこを守るカムイに

私の父がなっていたものだが

沖のカムイが妬みによって

あのように私の父を怒鳴りつけ

取っ組み合いをしたあげく

アオナハカ、 、 は一、 イケスイワ

a=onaha ka, , (HA,) ikesuy wa

リキンワ イサム ルウェネヒネ

rikin wa isam ruwe ne hine

オラ (咳払い) キアクス、 こんど いそ、 、

ora ki akusu, KONDO ISO, ,

アオナハ インカルワンナイネ

a=onaha inkar wa an ayne⁽¹⁸⁾

イワウコタン ケムアン ノイネ

iwaw kotan kewan noyne

イラムアン クス ホクレ ホクレ

iramu=an kusu "hokure hokure

アボホ イかわり ランワ

a=poho i=KAWARI ran wa

エわかいいベ エネナ あ、 、

e=WAKAI pe e=ne na

ピリカノ イワウ スプリ イワウコタン

pirkano iwaw nupuri iwaw kotan

エエ、 ピリカノ エエブンキネ

(ee) pirkano e=epunkine

イテキ ウエンカムイ、 タンネ、 、

iteki wen kamuy (tane, , EHEN)

アマケタロ ソモキノ

a=maketaro somo ki no

ピリカノ エエブンキネ ナンコンナー

pirkano e=epunkine nankor na

エボホ エマッネポー

e=poho e=matnepo

(ア) エコロ カッケマツ トウラノ

e=kor katkemat turano

エチラブ ビヤク ビリカナ

eci=rap yak pirka na

オラー ケムアン ノイネ

ora kewan noyne

私の父も怒って出ていって

天にのぼってしまつて

そうしたあとで

私の父が眺めると

イワウ村が飢饉になつたように

思われて「さあさあ、

私の息子よ、私の代わりに下りて、

お前は若者なのだぞ。

しっかりとイワウ山とイワウ村を

きちんとお前が守つて

決して悪いカムイに

負けたりせずに

立派にお前が守るのだぞ。

お前の息子や娘たちと

奥さんと一緒に

降りて行くとよいぞ。

それから飢饉になつてゐるように

イラムアックス タパンベ
 iramu=an kusu tapan pe
 アイヌウタラ ヌカルカー エーカッパカー
 aynu utar nukar ka epa ka⁽¹⁹⁾
 エラムシカリッ ネ ノイネ
 eramuskari p ne noyne
 アラムクス エチユヅテッベネ ナー
 a=ramu kusu eci=yuptek pe ne na
 エチエトイタワ ア、
 eci=etoyta wa (a)
 ケムアン ノイネ エチヌカル チキ
 keman noyne eci=nukar ciki
 は一、わかいものウタル
 WAKAIMONO utar
 エレパ クニ ウッパ クニ え一、
 erepa kuni ukpa kuni
 エバエテンケワ あの、
 epaetenke wa (ANO)
 イテキ シネッポカ アウタリ
 iteki sinep poka a=utari
 ライバ しないように
 raypa SINAIYOUNI
 バロ エオイキ ナンコンナ
 paro e=oyki nankor na"
 セコル アオナハ ソンノ
 sekor a=onaha sonno
 イバエテンケッ ネクス
 i=paetenke p ne kusu
 ラナン ルウェネー ワ
 ran=an ruwe ne wa
 チセ アカラヒネ オカアナコルカ
 cise a=kar hine oka=an a korka
 エネアン ウェンカムイ (咳払い)
 ene an wen kamuy

思うので、これは
 アイヌたちが見たことも食べたことも
 ないもののように
 思うから、お前がしっかり働くのだぞ。
 お前がそれを植えて
 飢饉のように見たなら
 若者たちが
 食べさせるように、取るように
 彼らを論して
 決して一人もアイヌの仲間が
 死なないように
 お前が養うのだぞ。」
 と父から真剣に
 諭されたので
 私は降りてきて
 家を建てていたけれども
 このように悪いカムイが

ヤイエシリカラワ エネ オカバ オラー

yayesirkar⁽²⁰⁾ wa ene okapa ora

アエツ ラマチ ヌイナワ イサムバワ

aep ramaci⁽²¹⁾ nuyna wa isampa wa

エネー エチエツカ イサム

ene eci=e p ka isam

キムタ エチイソノクス

kim ta eci=ison kusu

パイエパー ヒケ ケ

payepa hike ka

エチアルパ ヤツバヤツカ

eci=arpa yappa?? yakka

ネツ イセボ シネツカー

nep, isepo sine p ka

エチライケカ エアイカヲノ

eci=rayke ka eaykap no

アエツ エ、ラマツ シツス ラマツ

aep ramat siknu ramat

ヌイナワ イサム ウエンカムイ ウタラ

nuyna wa isam wen kamuy utar

ネ ルウェネクス

ne ruwe ne kusu

カムイウタラ ウコイソン、タイバワ

kamuy utar ukosontaypa⁽²²⁾ wa

ネンボカ ネ ウエンカムイ ウタラ

nen poka ne wen kamuy utar

ボクナモシル うー、アコオテルケ クニーネ

pokna mosir a=kooterke kunine

ウコソソタイコロ オカバ ルウェネクス

ukosontay kor okapa ruwe ne kusu

(咳払い) ネ コラチ エチ エラムオカワ

ne koraci eci=eramoka wa

ピリカノ ラ、アルキアニ ナニー

pirkano (ra) arki=an hi nani

移り住んでから

食べ物の魂を隠してしまって

このようにお前たちが食べるものもなくなった。

山に獲物をたくさんとるために

出かけても

お前たちが行っても??

何も、ウサギー羽も

殺すことが出来ずに

食物の魂、生きる魂

を隠してしまった悪いカムイたち

であるから

〔良い〕カムイたちが話し合って

なんとかその悪いカムイたち

を地下の世界へ蹴落とすべきであると

相談しながらいたので

そのように、お前たちがわかって

ちゃんと私が来たときにすぐ

ウサオカ アエツ アエトイタワ

usa oka aep a=etoyta wa

ピッカノ リワ オカイ

pirkano ri wa okay

ル、ルウェネクス は一、

ruwe ne kusu

ニサツタネ アナツネ わか、あ、

nisattane anakne (WAKA, A,)

ベウレウタル ヌブリー サムタ

pewre utar nupuri sam ta

アルキバヤクン トゥス アランケ ナ

arkipa yakun tus a=ranke na

アランケチキ ネ トゥス オッタ オピッタ

a=ranke ciki ne tus or ta opitta,

あ、あ、あー、あ、なんたけ

(A, A,, A, A, NANTAKE

オピッター、あ、あ、わすれた

opitta,, HA,, A, WASURETA)

いろいろな食べ物を私は植えて

ちゃんと育てていた

ので

明日には

若者たちが山のそばに

来たなら、私が綱を下ろすぞ。

それを私が下げたら綱の所にみんな

(あ、あ、あー、あ、なんたけ？

みんな、あ、あ、忘れた。)

〔聞き手：トゥスランケしたやつ、登っていくのかい？〕

のぼっていくの

(NOBOTTE IKUNO)

(登って行くの。)

〔聞き手：あ、トゥスアキシ、キシマワ、〕

オビ、オピッタ、

opitta,

全部、

〔聞き手：ヘメシバ？〕

アヘメスレ エアイカッ ペネクス (咳払い)

a=hemesure eaykap pe ne kusu

ミ、ミマラハ オカバ ヤクン スイ

mimaraha okapa yakun suy

上げられないので

半分いたら、また

オトウスイ レスイ トウス アランケナー
otu suy re suy tus a=ranke na"
セコル ハウエ アウエンタラッテ ネクス
sekor hawe a=wentarapte ne kusu
エアルキンネアン コタンコンニッパ
earkinnean kotan kor nispa
エヤイコブンテッ アシヌマーあとは
eyaykopuntek asinuma TO WA
アエッも アコル カッケマッカー
aep MO a=kor katkemat ka
ユッテッ ペネクス イソナンワ
yuptek pe ne kusu ison=an wa
サバンコル オピッタ サカンケワ
sap=an kor opitta sakanke wa
サッケア サッケア ポロンノ
satke a satke a poronno
アンペネクス ポンノ ポンノ
an pe ne kusu ponno ponno
アエイメッ コタン オロワ
a=eymek kotan or wa
コタンケッワー アエイメッ ワ
kotan kes wa a=eymek wa
オカワ ビリカッネ コルカー
oka wa pirka p ne korka
エキム、イソンバ ソモキ ウタラ アナッ
(ekim,) isonpa somo ki utar anak
ライヒケ ライ ペネクス
ray hike ray pe ne kusu
キッ ネアッ
ki p ne a p
エネ アエッ チカシヌカラ
ene aep cikasınukar
アイキレ ハウエネヤクン
a=i=kire⁽²³⁾ hawe ne yakun

二、三度、私が綱を下すぞ」

と夢に見せられたので

ほんとうに村おさが

それを喜んで私たちは

食物も、私の妻も

働き者だったので私がたくさん獲物をとって

山を下りると彼女が全部ゆでて乾かして

干して干して、たくさん

あったので少しずつ

食べ物を分けて村のところから

村の端から私は食べ物を分け与えて

いてよくなったのだけれども

獲物に恵まれなかった人たちは

死ぬものは死んでしまうので

そうしたものであったが

このように食べ物を授けることを

してくれるのであれば

ニサッタネ ペウレウタラ
 nisattane, pewre utar
 ヌプリ サムタ パイエバ ヤッ
 nupuri sam ta payepa yak
 ビリカナール セコル ハウエアナンコル
 pirka na sekor hawean=an kor
 コタンケシ コタンパウン
 kotan kes kotan pa un
 ア、アスラーニアン アクス
 asurani=an akusu
 エアラキンネ ア エヤイコブンテッパ コロ
 earkinne a=eyaykopuntekpa kor
 ネ ペウレウタル オンネッ ソモ
 ne pewre utar onnep (somo)
 イテキ アルバレ セコンネ
 iteki arpare sekor ne⁽²⁴⁾
 アウエンタラフテレフ ネクス
 a=wentaraptere p ne kusu
 ペウレウタル パーテッ パイエバ ヒネ
 pewre utar patek payepa hine
 こんど、イナウネチキ さけネチキ
 KONDO, inaw ne ciki SAKE ne ciki
 アボホ アセレヒネ
 a=poho a=sere hine
 ア、アルバフネクス ホッキ トウス
 arpa p ne kusu hoski tus
 あれして、ヘメッパ ヒネ こんど
 ARE SITE hemespa hine KONDO
 ネ カムイチセ サムタ
 ne kamuy cise sam ta
 ネ イナウ アシヒネ こんど
 ne inaw asi hine KONDO
 イヤイライケイタッ (咳払い)
 iyayrayke itak

明日、若者たちは
 山のそばに行けば
 いいぞと言いながら
 村の下、村の上へ
 知らせると
 ほんとうに私は喜びながら
 若者たちは老人を
 行かせるなという
 夢を見せられていたので
 若者だけで行って
 御幣とか酒とか
 息子に背負わせて
 行ったものだから、最初に綱
 をつかんで登って
 そのカムイの家のそばに
 その御幣を立ててから
 感謝の言葉

アポホカ エラム、マンペネクス

a=poho ka eraman pe ne kusu

キワ た、ミマラハカ ヘメンバー ワ

ki wa (TA,) mimaraha ka hemespa wa

アルキバツ ネクス こんど

arkipa p ne kusu KONDO

インカラニケ イネアツ クス

inkar=an hike ine a p kusu

ピリカ、ヒ アエラムベウテツノ こう

pirka, hi a=erampewtek no KOU

それこそ カムイ メノコ

SOREKOSO kamuy menoko

カムイ ネ コロカ アイヌネ

kamuy ne korka#aynu ne

ヤイカルワ ピリカ それこそ

yaykar wa pirka SOREKOSO

カムイネクス コラチアン メノコ

kamuy ne kusu koraci an menoko

ネ ヤイカラ マッ カッケマツ

ne yaykar (mat)⁽²⁵⁾ katkemat

キ ヒネ イエバカシヌ

ki hine i=epakasnu

タアンベ アナツネ コルコニ

"ta an pe anakne korkoni

セコル アイェブ ネ

sekor a=ye p ne

タアンベ アナツネ ヌベ

ta an pe anakne nupe

セコル アイェブネ

sekor a=ye p ne

タアンベ アナツ あー、ブク、ブクサ

ta an pe anak (A) pukusa

セコル アイェブ ネーって

sekor a=ye p ne TTE,

を私の息子も理解しているので

祈って、〔下にいた人の〕半分も登って

来たので、こんどは

眺めたところ、なんとまあ

美しいことか、見たこともないほど

とても立派な女性の

神様でしたが人間に

姿を変えて美しく、それこそ

神のような女性

に姿を変えた御婦人に

なって私に教えた。

「これはフキ

というものです。

これはヌベ⁽²⁶⁾

というものです。

これはギョウジャンニク

というもので

タアンペ アナク トウレブ

ta an pe anak turep

セコル アイェブネーって

sekor a=ye p ne TTE

タアンペ アナク ソルマ セコロ

ta an pe anak sorma sekor

アイェブネー セコロ イエパーカシヌ

a=ye p ne" sekor i=epakasnu

シケトッワノ アエラムシカリ

siketokwano a=eramuskari

アヌカルカ エラムシカリ

a=nukar ka eramuskari

ハムフ オマ ア、

hamuhu oma (a,)

アエッ オビッタ

"aep opitta

アエ エアッカイベネナー

a=e easkay pe ne na

ハムフ エチトゥイバ チキ

hamuhu eci=tuypa ciki

ハムフ ネヤッカ (咳払い)

hamuhu ne yakka

カブフネヤッカ シンリチーでも

kapuhu ne yakka sirici DEMO

アオスラ ウンケ アナク

a=osura uske anak

トイ アンクラ オッタ

toy ankura or ta

エチ (咳) シロウリワ オロウン

eci=, sirouri wa orun

エチオマレ ヤクン ヘトウッパ

eci=omare yakun hetukpa

ナンコンナー セコル は、イエバカシヌ

nankor na" sekor i=epakasnu

これはウバユリ

というもので

これはゼンマイと

いうものです」と私に教えた。

まったく私が知らない

見たこともない

葉っぱがついていた。

「食べ物、全部

食べられるものですよ。

その葉っぱを切ったら

葉っぱであっても

皮であっても根っこでも

捨てられる部分を

畑のあぜのところに

土を掘って、そこへ

入れたら芽を出す

でしょう」と私に教えた。

ソンノ ネウン アトゥイエ ヤッカ

sonno neun a=tuye yakka

アトゥイエウシケ アエラムペウテッノ

a=tuye uske a=erampewtek no

ピリカ ナニノボ

pirka nani nopo

ヘトゥッパ ルウェネアー ペコル

hetukpa ruwe ne a pekor,

カムイ トイタツネクス

kamuy toyta p ne kusu

ネウン アトゥイエア アトゥイエア ヤッカ

neun a=tuye a a=tuye a yakka

ネウン アトゥイエワ アシケ アカルコル

neun a=tuye wa a=sike a=kar kor

マツカネワ イサムランケ イサムランケ

mak ka ne wa isam ranke isam ranke

(笑い) エアルキンネアン マー、カナツネワ

earkinnean makanak ne wa

イサム ルウェ アン セコル ヤイヌアンコル

isam ruwe an sekor yaynu=an kor

こんど、もう、オヤモツテも

KONDO, MOU oyamokte MO

ソモキアンノ こんど スイ ホシビアン

somo ki an no KONDO suy hosipi=an

エチエオケレチキ

"eci=e okere ciki

スイ トウシア、トウス アランケナ

suy (tus a,) tus a=ranke na

スイ エチアルキヤッ ピリカ ナンコンナ

suy eci=arki yak pirka nankor na"

セコル は、ネ カッケマツ

sekor (HA,) ne katkemat

ハウエアン (咳) ルウェネヒネ こんど

hawean ruwe ne hine KONDO

ほんとうにどんなに私が切っても

切ったところがわからなくなるように

ちゃんと、すぐに

生えてきたかのように

神様が植えたものだから

どんなに切っても切っても

どんなにか切って、荷物をこしらえると

どういうわけか次々になくなってしまった。

まったくどうして

なくなってしまったのかと思うと

それからは不思議だとも

思わずに再び私は帰った。

「お前たちがそれを食べ終えたら

再び私が綱を下ろすぞ。

また来たらよいぞ。」

とその婦人

が言ったので

アエヤイコブンテッ コロ
 a=eyaykopuntek kor
 オンカミ アナアナアナ
 onkami=an a an a an a
 こんど トゥス ランペネクス
 KONDO tus ran pe ne kusu
 ラッアナクス ラタ ネー アトゥイエブ
 rap=an akusu ra ta ne a=tuye p
 オピッタ アランケワ アン ルウェネ
 opitta a=ranke wa an ruwe ne
 エアルキンネアン シケトクワノ
 earkinnean siketokwano
 アエラムベウテッ、ラン ウシケ カ
 a=erampewtek⁽²⁷⁾, ran uske ka
 アヌカルカ ソモキッ
 a=nukar ka somo ki p
 マカナク ネワ エネ へー、
 makanak ne wa ene (HE,)
 ラタ ランワ オカバヒ アン
 ra ta ran wa okapa hi an
 セコル ヤイヌアン コルカ
 sekor yaynu=an korka
 カムイ レンカイネ エネ アランケ
 kamuy renkayne ene a=ranke
 したな セコル ヤイヌアン
 SITANA sekor yaynu=an
 アシヌマ アナクネ
 asinuma anakne
 アオナハ バウエトッ ペネクス
 a=onaha paetok pe ne kusu
 ヤイヌアン コロ こんど
 yaynu=an kor KONDO
 ネ オンカミアナアナ コロ こんど
 ne onkami=an a an a kor KONDO

私は喜んで
 礼拝を繰り返した。
 そして綱が下がったので
 降りて行くと下に刈り取ったもの
 が全て降ろされていたのであった。
 まったく全然
 知らなかった。降りたところも
 私は見もしなかったのだが
 どのようにしてこのように
 下に降りていたことなのか。
 と思ったけれども
 カムイの思し召しでこのように降ろされ
 たのだなと私は思った。
 私は
 父が雄弁であったのだから
 思いながら
 礼拝を繰り返して



アシケヘ アワ、、アワケタロ ヒネ

a=sikehe a=waketaro⁽²⁸⁾ hine

オビッタ アセヒネ こんど

opitta a=se hine KONDO

オビッタ インネアンワ ラッ、、ラ、ウ、、

opitta inne=an wa rap,, (ra, u,,)

チセオルン アルキパアン (咳)

cise orun arkipa=an (UHUHUN,,)

ヒネ こんど アウヌフカ

hine KONDO a=unuhu ka

エアルキンネ ユツテッベネクス

earkinne yuptek pe ne kusu

エネ カムイハウエアン コラチ

ene kamuy hawean koraci

ポロ スアッテ ヒネ ア、アチレ

poro su atte hine (a) a=cire

ハムフカ アトウイエ アトウイエヒネ

hamuhu ka (a=tuye) a=tuye hine

ハムフ オビッタ シロウリアンヒネ

hamuhu opitta sirouri=an hine

オロタ アオマレ ヒネ そして

oro ta a=omare hine SOSITE

アチレ アクス ソンノ ピリカノ

a=cire akusu sonno pirkano

アチレッ ネ、ネッネクス

a=cire p (ne) ne p ne kusu

こんど ネ サッ (咳払い) カム アニ

KONDO ne sat kam ani

アスウェコル ソンノ エアルキンネ

a=suwe kor sonno earkinne

シッポ ルル アカラ アクス

sippo rur a=kar akusu

ケラアンワ エアルキンネアン

keraan wa earkinnean

荷物を分配して

全部私たちが背負って

みんなで大勢で下りた。

家に着く

と、私の母も

本当に働き者なので

あの神様が言ったように

大きな鍋を掛けてそれをゆでた。

その葉っぱも切って

葉っぱは全て土を掘って

そこに入れて

私が煮ると、ほんとうによく

煮えたので

次に干し肉で

料理しながらとっても〔上手に〕

塩汁を料理したところ

美味しくて、たいそう

チットウラ アエヨロコンダロ

cis tura a=eyorokondaro

イペアン オラー

ipe=an ora

ネー アナカシ エアイカナベ

ne apkas eaykap pe

オンネブ ウタラ ネ、アチレブ

onne p utar (ne⁽²⁹⁾) a=cire p

ネ にく アサ、アサッケ カム

ne NIKU (a=sa,) a=satke kam

やら チェブやらと アク、

YARA cep YARA, TO, (ak,)

アウヌフ エイメク クス

a=unuhu eymek kusu

コタンバウン コタンケシワ す、

kotan pa un kotan kes wa (su,)

そして アイペレバ ヤクン

SOSITE a=iperepa yakun

エアルキンネ エヤイコブンテッパ

earkinne eyaykopuntekpa

オンネブ ウタラ チシ コル

onne p utar cis kor

ヤイコブンテッパ コル オカ

yaykopuntekpa kor oka

ネー コロコニ アニ

ne korkoni ani??⁽³¹⁾

エキムネアニケー カー

“ekimne=an hike ka

イセボ ポカ ライケ カ イサム

isepo poka rayke ka isam

ベトルン チェブコイキ クス

pet orun cep koyki kusu

サパニケカ アエオムケン

sap=an hike ka a=eomuken

泣いて喜びました。

私は食事をしてから

歩くことができない者や

老人たちに煮物を、

その干し肉

や魚を

私の母が分け与えるため

村の上手へ、村の下手から

彼らが食事を与えられたら⁽³⁰⁾

とても喜んで

老人たちが泣きながら

喜んでいた。

そのフキで??

「私が山獺に行っても

ウサギでさえ殺せない

川へ行つて魚をとるために

下つても獲物がとれなかった。

ネ ウエンカムイウタラ	
ne wen kamuy utar	あの悪い神々
イペラマッ は一、ヌイナバ ワ	
ipe ramat (HA,) nuynapa wa	が食べ物の魂を隠して
イサム ル、アナ セコル ハウエアナン、	
isam ru, ana?? ⁽³²⁾ ” sekor (haweana=an,)	しまったのだな。」と
ハウエオカアン コロ キツネクス	
haweoka=an kor ki p ne kusu	私は言いながら
エキムネアーン カ エアイカッ ま、	
ekimne=an ka eaykap	山獺も私は出来なかった。
エネ キツネクス キコル ナ	
ene ki p ne kusu, ki kor na	このような状態でまだ
オカアンベネヒケ たまたまに	
oka=an pe ne hike TAMATAMA NI	暮らしていたところ時々
その ウエンカムイ ウタル (咳払い)	
SONO wen kamuy utar	その悪い神々が
スイ イウエンテクス	
suy iwente kusu	また悪さをするために
イベルスイバ コル イウエンテ クス	
ipe rusuyapa kor iwente kusu	腹を空かせると再び人に悪さをするため
サッパランケ しっても その やアニ	
sappa ranke SITTEMO SONO YA ani	しょっちゅう出てきても矢で
アチョッチャランケ キコル	
a=cotca ranke ki kor	私が射当てると
キリリセバコル ホシッパランケ コロ	
kirirsepa kor hosippa ranke kor	金切り声をあげて引き上げるという状態で
オカアン したもの、は一、こんど	
oka=an SITAMONO (HAA), KONDO	私たちは暮らしていたのだが
(咳払い) クス モコル アナクス	
(UUNN, kusu) mokor=an akusu	私が眠ると
ウエンタラッアナクス	
wentarap=an akusu	私が夢を見ると
タパンコタン イワウコタン	
“tapan kotan iwaw kotan	「この村、イワウ村を

エチアッカリ ワー、ス、サパンコロ
 eci=apkas⁽³³⁾ wa, (su,) sap?? kor
 スイ あんまり ポローコタン
 suy ANMARI poro kotan
 インネコタンでないけど アンワ
 inne kotan DE NAIKEDO an wa
 オロタ スム カルベ オカ
 oro ta sum kar pe oka
 コタンコン ニシパ はー、ピリカ ニシパ
 kotan kor nispa (HA,) pirka nispa
 チェブコイキワー チ、チレワ
 cep koyki wa (ci,) cire wa
 スム エイヨク したり
 sum eyyok SITARI
 コラル したり キコル アンペ ネナ
 korar SITARI ki kor an pe ne na
 エボホ エアルキンネ ケマトゥナシ
 e=poho earkinne ke, kematunas
 ピリカ わかいもの ネ ルウェネクス
 pirka WAKAIMONO ne ruwe ne kusu
 ホクレ ホクレ ネ コタン オルン
 hokure hokure ne kotan orun
 ケマトゥナシ ペネクス
 kematunas pe ne kusu
 シネト アブカス せば
 sine to apkas SEBA
 アルバして ホシビワ エク ナンコル
 arpa SITE hosipi wa ek nankor
 ケマトゥナシ ペネクス キナ
 kematunas pe ne kusu ki na
 ホクレ ホクレ
 hokure hokure
 オラ カム、アナク (咳) エアニ
 ora kam, anak, (AHEN,) eani

下がって行くと

また、それほど大きな村、

大勢いる村ではないが、それがあって、

そこで油脂をとる者がいて

村おさの良いだんなさん

が魚をとって煮て

油を売ったり

あげたりして暮らしているぞ。

お前の息子はとても足が速い

立派な若者なのだから

さあ早く、その村へ

足が速いのだから

一日歩けば

行って戻って来られるだろう。

足が速いのだからそれが出来るぞ。

さあさあ、

それから、肉はお前が

エサク、 、あの、 、エサカンケワ

(e=sak, , ANO) e=sakanke wa

エサッケッ アン ナンコンナ

e=sakke p an nankor na

カム エルスイワ

kamu e rusuy wa

ネ コ、コタンコンニシパ キ、

ne (ko,) kotan kor nispa ki,

エキムネカ エアイカッ ベネクス

ekimne ka eaykap pe ne kusu

キワ アンナ キ ヤクン

ki wa an na ki yakun

スム ア、 、エボホ アエコル、アコレワ

sum (a) e=poho (a=e kor) a=kore wa

セワ エッコヤイクシ ナンコンナー

se wa ek koyaykus nankor na"⁽³⁴⁾

セコル スイ カ、カムイ

sekor suy (ka,) kamuy

イウエンタラッテレ

i=wentaraptere

クンネイワ アエヤイコブンテッコル (咳払い)

kunneywa a=eyaykopuntek kor

クンネイワ こんど アボホ

kunneywa KONDO a=poho

ホブニ クス タッネ タッネ カネ

hopuni kusu tapne tapne kane

ウエンタラッアン ルウエネクス

wentarap=an ruwe ne kusu

タバン ル、ルル、 だか、 、

"tapan (ru, rur, DAKA, ,)

ル (咳) オベシワ エサン ヤクン

ru, , opes wa e=san yakun

コタン アン ナンコル

kotan an nankor

ゆでて

干したものがあるだろう。

肉を食べたがって

その村のだんなさんがいる。

彼は山獺も出来ないの

そうしているのだ。そうしたら

お前の息子が油を貰って

「背負って来るのも難しいぞ」

と再び神様が

私に夢を見させた。

朝、私は喜ぶと

朝になって私の息子

が起きたので、かくかくしかじかと

私が夢を見たので

「この

道に沿ってお前が下ったら

村があるだろう。

コタンコンニシバ

kotan kor nispa

わかいオッタ、ベウレオッタ アナクネ

(WAKAI or ta,) pewre or ta anakne

アルバアンしたり エッしたり キワ

arpa=an SITARI ek SITARI ki wa

エアラキンネ ウコナカイーアンペ

earkinne ukonakai=an⁽³⁵⁾ pe

アネア ニシバネナ

a=ne a nispa ne na

エヤイオペオベ ヤクン

e=yayopeope yakun

エラマン ナンコンナー セコル

eraman nankor na" sekor

アオナ イイエブ ネクス こんど

a=ona i=ye p ne kusu KONDO⁽³⁶⁾

トゥレブ アサカンケーワ

turep a=sakanke wa

アウヌフ キツネクス

a=unuhu ki p ne kusu

ネア サカンケツ

nea sakanke p

ポロンノ アコルヒネ あと

poronno, a=kor hine ATO

カム、カム ネヤツカ

(kam,) kam ne yakka

ネ ニシバ アコレ カムカ

ne nispa a=kore kam ka

ポロンノ アセ (咳) アコル

poronno a=se, a=kor

こんど ニタナンペ ネクス

KONDO nitan=an pe ne kusu

トカブ、ナ ポンノ

tokap, na ponno

その村のだんなさん

が若い頃には

私が行ったり彼が来たりして

とても仲の良かった

だんなさんなのだ。

お前が名乗って説明したら

彼はわかってくれるだろう」と

私の父が言ったので

オオウバユリをゆでて干して

私の母がそれをしたので

そのゆで干ししたものを

たくさん持って、それから

肉であっても

そのだんなさんに私があげる肉も

たくさん持って

私は足が速いので

昼にはまだちょっと

はやいな と おもう、も、ころ
 HAYAINA TO OMOU, MO, KORO
 ベッサムタ ネ コタン アヌカル
 pet sam ta ne kotan a=nukar
 ウシケタ ペタン ペネクス
 uske ta pet an pe ne kusu
 オロタ イペアンワ、トゥナシ イペアンワ
 oro ta (ipe=an wa) tunas ipe=an wa
 アルバアニケ セコル ヤイヌアンベ ネ
 arpa=an hike sekor yaynu=an pe ne
 シンキアンカ キツネクス こんど
 sinki=an ka ki p ne kusu KONDO
 ベッサムタ ア アアンヒネ こんど
 pet sam ta a=an hine KONDO
 コルコニ ハム ア、アコルカネ
 korkoni ham a=kor kane
 ビサクネ アカルワ
 pisakku ne a=kar wa
 アコルカネフ、ネ、ネツネクス
 a=kor kane (p, ne,) ne p ne kusu
 こんど ネフ、カム アサカンケ したり
 KONDO (nep,) kam a=sakanke SITARI
 トウレフ アサカンケフ
 turep a=sakanke p
 べんとに アコルベネクス
 BENTO NI a=kor pe ne kusu
 サンケ アンヒネ ネー トウレフ
 sanke=an??⁽³⁷⁾ hine ne ne turep
 アエコル ワッカ アタワ
 a=e kor wakka a=ta wa
 アクランケ コル アナン
 a=ku ranke kor an=an
 ヘマンタ フム オッタ
 hemanta hum or ta

早いかなと思う頃に
 川のそばで、その村が見える
 ところに川があったので
 そこで急いで食事をして
 出発したらいいと思った。
 私は疲れていたの
 川のそばに座って
 フキの葉っぱを持ったまま
 柄杓^{ひしやく}を作って
 私は持ちながら、であったので
 私は肉をゆでたり
 オオウバユリをゆでたものを
 弁当にして私は持っていたので
 それを出して、そのオオウバユリを
 食べながら水を汲んで
 飲みながらいた。
 何かの音で

ヤイシカルン カ アンワ
 yaysikarunka=an wa
 インカラニケ イサムタ カランケノ
 inkar=an hike i=sam ta karanke no
 チロンヌッ カムイ エッヒネ
 cironnup kamuy ek hine
 イトイコシケライケワ アン ルウェネ
 i=toykosikerayke wa an ruwe ne
 エアルキンネ ラムトゥイアン、ペネクス
 earkinne ramutuy=⁽³⁸⁾an , pe ne kusu
 マカナッ エイキワ エネ イサムタ (咳)
 makanak e=iki wa ene i=sam ta
 ソンノ ポネヘ タクツァン
 sonno ponehe takup an
 チロンヌッ カムイ ネヒ
 cironnup kamuy ne hi
 アエラマンノ アンベ
 a=eraman no an pe⁽³⁹⁾
 エッヒネ こんど イベアニー
 ek hine KONDO ipe=an hi
 ヌカルワ エアルキンネアン
 nukar wa earkinnean
 ポロ ヌペコラパッセ コル
 poro nupekorapapse kor
 ネ チロンヌッ カムイ アン ルウェネ
 ne cironnup kamuy an ruwe ne
 エアルキンネ シネンネ
 earkinne sinenne
 イベアンカ エアイカッ
 ipe=an ka eaykap
 エアルキンネ チサチサチサチサ コロ
 earkinne cis a cis a cis a cis a kor
 イサムタ エネ イシケライケ コル
 i=sam ta ene i=sikerayke kor

気がついて
 見たところ、私の近くに
 キツネの神が来て
 私をじっと見つめていたのである。
 本当にびっくりしたので
 どうして、このように私のそばに
 まったく骨ばかりになって瘦せた。
 キツネの神であること
 を私が氣にとめていたものが
 来て、私が食事するのを
 を見て、とても
 たくさんの涙をバラバラ流しながら
 そのキツネの神がいたのです。
 とても一人で
 食事も出来なかった。
 本当に泣いて泣きながら
 そばで私をじっと見つめながら

アンペネークス こんど (咳払い)

an pe ne kusu KONDO

いるので

ネー カム アエクス アコルワ

ne kam a=e kusu a=kor wa

その肉は私が食べるために持って

アルパアン カム アコレ したり

arpa=an kamu a=kore SITARI

来た肉を与えたり

トゥレナ あー、コルコニ ハム オロ

turep (A) korkoni ham oro

オオウバユリをフキの葉っぱへ

アオマレヒネ サマケウン

a=omare hine samake un

入れて、そのそばに

アアヌ アクス もう、チ、チサチサ

a=anu akusu MOU (ci,) cis a cis a

置くと泣いて泣いて

ヌカルワ アンナイネ チサチサコロ

nukar wa an ayne cis a cis a kor

見ていたあげく、泣きに泣きながら

こんど イヤイライケ イタク

KONDO iyayrayke itak

そして感謝する言葉

ネ ノイネ サバハ ランケ したり

ne noyne sapaha ranke SITARI

のように頭を下げたり

プニ したり キコル アナイネ

puni SITARI ki kor an ayne

起こしたりしていると

こんど チシコル アナイネ

KONDO cis kor an ayne

泣いていたあげく

こんど ネワアン トゥレナカ エー

KONDO ne wa an turep ka e

そのオオウバユリも食べ、

カムカ エー オラ ネ コルコニ に

kam ka e ora ne korkoni NI

肉も食べて、フキで

ピサック アカルワ

pisakku a=kar wa

私は柄杓を作って

アコルベネクス オルン

a=kor pe ne kusu orun

私はそれを持ってそこへ

ワッカ アタワ アコレ アクス

wakka a=ta wa a=kore akusu

水を汲んで与えると

ネ ワッカカ クー ランケ

ne wakka ka ku ranke

その水も飲みながら

ネー トゥレフ エア エアコル こんど (咳)

ne turep, e a e a kor KONDO

エコル アンシリ アラ アヌカル コル

e kor an siri (ara) a=nukar kor

こんど イテキ ウエンブリ

KONDO "iteki wen puri

エチコンノ ビリカ カムイ ネ

eci=kor no pirka kamuy ne

エチオカ ナンコンナ

eci=oka nankor na

イテキ ウエンブリ アナク

iteki wen puri anak

エチコル、 エチコル ヤクン

eci=kor, eci=kor yakun

もう、だめな ルウェネ セコロ

MOU DAME NA ruwe ne" sekor

アパエテンケ コロ こんど (咳)

a=paetenke kor KONDO (AHAHAN,)

アシヌマ アナク ルイカ アクシネ

asinuma anak ruyka a=kus hine⁽⁴⁰⁾

こんど ネ コタン コバクン

KONDO ne kotan kopak un

アルバアン ヒネ コタンコンニシバ だな

arpa=an hine kotan kor nispa DANA

セコル ヤイヌアン チ、ウシケタ

sekor yaynu=an (ci,) uske ta

アラバアン ヒネ シムシシカアナクス

arpa=an hine simusiska=an akusu

ソンノ カッケマク ソイネ ヒネ

sonno katkemat soyne hine

イヌカッテカ ア、アフンヒネ

i=nukar tek (a) ahun hine

タヅネカネ ビリカ わかいもの

tapne kane "pirka WAKAIMONO,

そのオオウバユリを食べて食べて

食べている様子を私は見ながら

「悪い行ない

をお前は持たずに、良いカムイとなって

暮らすのだぞ。

悪い行ないというのを

お前がそれを持ったら

もう駄目になってしまうのだぞ」と

私は諭してから

私は橋を渡って

その村の方へ

行って、村おさだろう

と思った家に

行って咳払いをすると

立派なご婦人が外に出てきて

私をさっと見た。〔家に〕入って

かくかくしかじかと「立派な若い人、

シレットコロ わかいもの

siretok kor WAKAIMONO,

エツワ ソイタ アン ルウェネー セコル

ek wa soy ta an ruwe ne" sekor

ハウエアナクス チセコル ニシバ、アー、

hawean akusu cise kor nispa (a,,)

イテキ イヨモンモノ アフンテー

"iteki iomommo no ahunte"

セコル ハウエアン ヒ アヌコロ

sekor hawean hi a=nu kor

アナン ペ アネアクス

an=an pe a=ne akusu

あ、あれ、入るな、あのとり

(A, ARE HAIRUNA ANO TORI)⁽⁴¹⁾

〔聞き手：いや、大丈夫。ちっちゃい〕

アフナン ヒネ ネ ニシバ

ahun=an hine ne nispa

アコラン、 、 なんとけ？ アコ、 、

(a=koram, , NANTAKE? a=ko,,

エランカラッ ちゅうのか？アコラム、 、

erankarap TYUUNOKA? a=koram,,)

〔聞き手：あ、ウ、ウエランカラッ？〕

ウコ、 、 ウエランカラッか、あ、そうよな

(uko,, uerankarap KA? A, SOUYONA)

〔聞き手：ウエランカラッアン、ヒネ〕

うん、ウエランカラッアン ヒネ

(UN) uerankarap=an hine

キアクス ヒナクワ エエクベ

ki akusu "hinak wa e=ek pe

美しい青年が

来て外にいます」と

言うと家の主人が

「細かいことを言わずに入れなさい」

と言うのを聞いて

いると

(あ、あれ、入るな、あのとり)

私は入って、そのだんなさん

に私は、 、 (なんとけ。アコ、 、

エランカラッというのか。アコラム、 、)

(ウコ、 、 ウエランカラッか。あ、そうよな。)

私は挨拶をして

そうすると「どこからあなたは来た人

エネ ルウェネ セコル イコイビスクス
 e=ne ruwe ne" sekor i=koipis kusu
 タッネ タッネ カネ (咳払い)
 tapne tapne kane
 イワウコタン オルワ エカンペ
 "iwaw kotan or wa ek=an pe
 コタンコンニシパ ポホ アネワ
 kotan kor nispa poho a=ne wa
 エカン ルウェネ セコロ ハウエアナクス
 ek=an ruwe ne" sekor hawean=an akusu
 エアルキンネ チシ トウラ
 earkinne cis tura
 エネ ペウレ アニタ アナッ
 "ene pewre=an i ta anak
 アルパアン したり エッ したり
 arpa=an SITARI ek SITARI
 キワ エアルキンネ
 ki wa earkinne
 ウコナカイーアンペ アネヒケ
 ukonakai=an pe a=ne hike
 オンネネマヌッ アコヤイラメコモワ
 onne nemanup a=koyayramekomo wa
 エネ アッカサンカ スクリワ
 ene apkas=an ka nukuri wa,
 アッカサンカ (咳) エアイカッノ
 apkas=an ka eaykap no
 エネ アナン ルウェネ セコル
 ene an=an ruwe ne" sekor
 アボウタリ パテッ エネ、は一、
 "a=poutari patek ene,, (HA,,)
 チェブコイキワ スウェパワ
 cep koyki wa suwepa wa
 スム ウッパワ ボロンノ アン コルカ
 sum ukpa wa poronno an korka

なのですか？」と私に尋ねるので

かくかくじかじかと

「イワウ村から来たもので

村おさの息子である私が

来たのです」と言う

ほんとうに泣きながら

「私が若い頃には

私が行ったり、彼が来たり

して本当に

互いに仲が良かったのですが

年寄りになって、どうしようもなくなって

このように歩くのもたいぎで、

歩くことも出来ずに

暮らしていたのです」と

「私の息子たちだけがこのように

魚をとって煮炊きして

油を取って、たくさんあるけれども

さかな アナク アエ エアシカイ コルカ

SAKANA anak a=e easkay korka

魚は食べられるけれども

キムン は一、チェブ アナク アエカ

kimun (HA,) cep⁽⁴²⁾ anak a=e ka

山の肉というのは食べられ

エラムシカリ ルウェネ セコル

eramuskari ruwe ne" sekor

ないのです」と

ハウエアン ルウェネ ヒネ こんど

hawean ruwe ne hine KONDO

言ったので

ネ アオナハ イ、イセレブネクスー

ne a=onaha (i) i=sere p ne kusu

父が私に背負わせたものなので

アウヌフ シ、シケヘ アセシケヘ

a=unuhu (si,) sikehe a=se sikehe

母が背負う荷物

アカル カルワ、イコル、イセレブネクス

(a=kar) kar wa (i=kor) i=sere p ne kusu

を作って私に持たせたので

ネワアンペ オピッタ アコレ アクス

ne wa an pe opitta a=kore akusu

そのようなものを全てあげると

ソンノ オンカミア オンカミア

sonno onkami a onkami a

とても礼拝を重ねた。

キムン アエブ、ア、アエエトクシ クスネ

"kimun aep, (a) a=e etokus kusune⁽⁴³⁾"

「山の食物、今食べるにちょうどいい」

セコル ネワ エアラキンネ チットゥラ

sekor ne wa earinne cis tura

と言って、とても泣きながら

エヤイコプンテク、ワ、ワ、こんど

eyaykopuntek wa KONDO

喜んで

スム アナク ポロンノ アンルウェネクス

"sum anak poronno an ruwe ne kusu

「油はたくさんあったので

エネ アコトウ、コタンケムシ アスルパテッアシ

ene kotan kemus asur patek as

このように村が飢饉の噂ばかりたって

しても アトクイエ コル ニシバ

SITEMO a=tokuyekor nispa

いると私の友達のだんなさんは

マカナク イキヒアン セコル ヤイヌアン コル

makanak iki hi an sekor yaynu=an kor

どうしているだろうと思ひながら

オカアン コルカ アポウタリカ

oka=an korka a=poutari ka

いたけれども私の息子たちも

クンネヘネ トカヅヘネ
 kunne hene tokap hene
 チェブコイキワ エネ コ
 cepkoyki wa ene (ko)
 コタンコル クル ウタル トウラノ
 kotan kor kur utar turano
 エネ カ、スウエバワ キコルカ
 ene (ka,) suwepa wa ki korka
 アエカスイカ エアイカッノ
 a=ekasuy ka eaykap no
 エネ チセオッタ パテッ
 ene cise or ta patek
 アナン ルウエブ、ル、ベ アネ ルウエネー
 an=an (ruwe p., ru,) pe a=ne ruwe ne"
 セコル ハウエアンコル キーオラ
 sekor hawean kor ki ora
 (咳払い) さかなルル アンナ
 "SAKANA rur an na
 ソモ エエ ちゅうから
 somo e=e" TYUUKARA
 タブネ タブネ カネ ペッサムタ
 tapne tapne kane "pet sam ta
 イペアンワ エカン ルウエネー セコル
 ipe=an wa ek=an ruwe ne (sekor)
 アクス チロンヌッ カムイ エッワ
 akusu cironnup kamuy ek wa
 エアラキンネ ヌベコラバツセコル
 earkinne nupekorapapse kor
 アンシリ アヌカル ワ エアラキンネ アー、
 an siri a=nukar wa earkinne
 ケウトウムウェン アンーコルカ
 kewtumwen=an korka⁽⁴⁴⁾
 アエブ カム ヘネ アセブネクス
 aep kam hene a=se p ne kusu

夜も昼も
 魚をとって、このように
 村おさたちとともに
 こうやって煮炊きしているが
 私は手伝いも出来ないで
 このように家の中でばかり
 私はいたのです。』
 と言ってから
 「魚汁がありますよ。
 食べませんか。」と聞くので
 かくかくしかじかと「川のそばで
 私は食事をして来ました。
 するとキツネの神が来て
 本当に涙をパラパラと流しながら
 いる様子を見て、本当は
 私の気は晴れていなかったけれども
 食べ物の肉とかを背負っていたので

アコレ アエレ ワッカ アタワ
 a=kore, a=ere wakka a=ta wa
 アコレ したり キコル イペアンワ
 a=kore SITARI ki kor ipe=an wa
 アルキアン ルウェネ セコル
 arki=an ruwe ne" sekor
 ハウエアナクス エアルキンネ、
 hawean akusu earkinne、
 イヨクンヌレ コル は一、
 iokunnure kor (HA、)
 オラー こんど それから
 ora KONDO SOREKARA、
 ホシビアン する セコル
 "hosipi=an SURU" sekor
 ハウエアナナクス スム エク、ソモ
 hawean=an akusu "sum somo
 エコンルスイ セコル
 e=kor rusuy" sekor
 ハウエアネー ニシバ キ、
 hawean ne nispa ki、
 アコンルスイワ エクアン コルカ
 "a=kor rusuy wa ek=an korka
 イチェンカ アサク ルウェネー
 icen ka a=sak ruwe ne"
 セコンネー アクス
 sekor ne akusu
 エネアン ボロンノ、アイコレ したもの
 "ene an poronno a=i=kore SITAMONO
 エセルスイ だけ エセワ
 e=se rusuy DAKE e=se wa
 エアルパ ヤクン ビリカ セコル
 e=arpa yakun pirka" sekor
 キワ こんど か、かんかん トゥッ
 ki wa KONDO (KA、) KANKAN tup

私はそれを食べさせて水を汲んで
 与えたりしながら食事をして
 来たのです」と
 言うと、とても
 驚いた。
 それから
 「私は帰ります」と
 言うと「油を
 欲しくないか？」と
 そのだんなさんが言った。
 「欲しくて来たけれども
 お金を持っていません」
 と言うと
 「このようにたくさん戴いたのだから
 背負いたいただけ背負って
 行ったらいい」と
 言って、一斗缶を二つ

イコレ エアルキンネ シネッ ネヤツカ
 i=kore "earkinne sinep ne yakka
 トウイマ ウシケ ネッ オラーとおもっ、
 tuyma uske ne p ora" (TO OMOT,,)
 セコル ヤイヌアン コルカ こんど
 sekor yaynu=an korka KONDO
 トupp アセヒネ クス
 tup a=se hine kusu
 ソンーノ ポロー (笑い)
 sonno poro UHUHU,,
 シケヘ アニ ア ネヒネ アセヒネ は一、
 sikehe (ani a=ne hine) a=se hine⁽⁴⁵⁾
 ホシピアンヒネ ネ ベッネルイカ
 hosipi=an hine ne pet ne ruyka
 アクス ヒネ エカン
 a=kus hine ek=an,
 シニアン ランケ エカン アイネ
 sini=an ranke ek=an ayne
 タネ なんぼ ニタンしても
 tane NANBO nitan SITEMO
 エネアン ポロシケ アキツネクス
 ene an poro sike a=ki p ne kusu
 ニタンカ アエ、アエクスノ
 nitan ka (a=e,,) a=ekus no
 キ アイネ タネ コタン カランケ
 ki ayne "tane kotan karanke,
 イワウ コタン カランケ たな
 iwaw kotan karanke TANA"
 セコル ヤイヌアンコル アルキー、エカン
 sekor yaynu=an kor (arki,) ek=an,
 エアルキンネ シンキアンペネクス シニアン
 earkinne sinki=an pe ne kusu sini=an
 シネッ テタ アアヌヒネ
 "sinep te ta a=anu hine

私にくれた。「まったく一つでも
 [運ぶには] 遠い所なのだが、,」
 と私は思ったけれども
 それを二つ背負ったので
 ほんとうに大きな
 荷物を背負って
 私は帰って、その川、その橋
 を渡って来た。
 休みながら来ると
 今は、いくら足が速くても
 このような大きな荷物を背負ったため
 速く歩くことも出来ないで
 来ると「ようやく村の近く、
 イワウ村の近くだな」
 と思いながら私は来た。
 とても疲れたので私は休んだ。
 「一つ、ここに置いて

ホシビアンヒネ スイ	
hosipi=an hine suy	帰ってから、また
エヤイコー ホトボ するべな セコル	
eyakohotopo SURUBENA" sekor	引き返して来よう」と
ヤイヌアン クス アシケ アアヌ ヒネ	
yaynu=an kusu a=sike a=anu hine	思ったので荷物を置いて
シニアンコル アナアクス	
sini=an kor an=an akusu	休んでいると
ヘマンタ エク ノイネ イラムアンコロ	
hemanta ek, , noyne iramu=an kor	誰かが来たみたいだと思って
アナナクス アアキヒ イエカノク	
an=an akusu a=akihi i=ekanok,	いると、私の弟が迎えに来たのだった。
エアラ ホシビ イサムベネクス	
ear hosipi isam pe ne kusu, ,	まったく帰って来ないので
イエカノク コル、クス エク シリ アヌカル	
i=ekanok (kor) kusu ek siri a=nukar	私を迎えに来るのを私は見た。
エアルキンネ アエヤイコブンテク	
earkinne a=eyaykopuntek	とても私は喜んだ。
シネツ アセレ したら すぐ	
"sinep a=sere SITARA SUGU	「彼に一つ背負わせたら、すぐに
つけるもんな セコル ヤイヌアンコロ	
TUKERU MONNA" sekor yaynu=an kor	たどり着くだろう」と思いながら
テレア コル アナナクス	
tere=an ⁽⁴⁶⁾ kor an=an akusu	待っていると
ソンノボカ イサムタ エクヒネ	
sonno poka i=sam ta ek hine	ほんとうに私のそばに彼が来て
エアルキンネアン イヨクヌヌレ	
earkinnean iokunnure	とても彼が驚いた。
エネアンペ よく エセワ エエク、	
"ene an pe YOKU e=se wa e=ek, ,	「こんなものをよく背負って来たな。
それだもの エモイレ	
SOREDAMONO e=moyre	それだもの、帰りが遅い
したさな セコル ハウエアンコロ こんど	
SITASANA" sekor hawean kor KONDO	わけだ」と言って

シネッ セーヒネ イコレ ヘネ
 sinep se hine i=kore hene
 アシヌマカ シネッ アセヒネ こんど
 asinuma ka sinep a=se hine KONDO
 アウニタ シレバアンナーナクス
 a=uni ta sirepa=an akusu
 アオナハ ソンノ イヨクンヌレ
 a=onaha sonno iokunnure
 シネッ でも やっとこだもの
 “sinep DEMO YATTOKODAMONO
 よっく ほんとに
 YOKKU HONTONI
 エセワ エエッ ルウェネ セコル
 e=se wa e=ek ruwe ne” sektor
 ハウエアンコル チシコロ ヤイコブンテッ
 hawean kor cis kor yaykopuntek
 ペネクス ア、、ナニ こんど
 pe ne kusu (a,,) nani KONDO
 アウヌフ ネ スムアニ キナルル カル
 a=nuhu ne sum ani kina rur kar,
 ソルマ やら アチレワ アンペネクス
 sorma YARA a=cire wa an pe ne kusu
 キナルル カルヒネ アエ
 kina rur kar hine a=e
 カム ア、アオしたり キーイネ アエアクス
 kam a=o SITARI ki hine a=e akusu
 エアルキンネアン ケラアン
 earkinnean keraan
 ネッ アイエイカ ケラアンペネクス
 nep a=ye hi ka keraan pe ne kusu
 こんど ネ スム こんど
 KONDO ne sum KONDO
 コタンケスン コタンバウン
 kotan kes un kotan pa un

一つ、彼が背負ってくれて

私も一つ背負ってから

我が家へ帰り着くと

私の父がとても驚いた。

「一つでもようやくなのに

よくこんなに

お前は背負って来たものだ」と

言いながら泣いて喜んだ

のですぐにこんどは

私の母がその油で山菜汁を作って

コゴミなどを煮ていたので

山菜汁を作って食べた。

肉を入れたりして食べると

とても美味しかった。

どんな言い方もできないほど美味しいので

今度はその油を

村の下へ上へ

シ、シネフ、アワケタロ ヒネ	
(si) sinep, a=waketaro hine	一つ、私は分配して
エアルキンネアン ウエピリカアン ヒネ	
earkinnean uepirka=an hine	本当に共に豊かになって
スイ コルコニ イサム コロ	
suy korkoni isam kor	またフキがなくなると
ネー イワウ ス、サムタ アルパアン、	
ne iwaw (su,) sam ta (arpa=an,)	例のイワウのそばに
パイェアンコル トゥス ランペネクス	
paye=an kor tus ran pe ne kusu	私が行くと綱が下がるので
ネワアンペ アキシマワ は一、	
ne wa an pe a=kisma wa (HA,)	それを掴んで
ヘメスアン スイ ランコル	
hemesu=an suy ran kor	登った。再びそれが下りると
オカケタ オカイベ	
okake ta okay pe	その後にはいた人たちが
キシマバワ ヘメシバワ	
kismapa wa hemespa wa	それを握って登って
ネ コルコニ ネヤー ソルマ ネヤー	
ne korkoni ne ya sorma ne ya	そのフキやコゴミや
チマキナ ネヤー オピッタ アシケ	
cimakina ne ya opitta a=sike	ウドとかをみんな荷物に
アカリーネ スイ アランケ ワ	
a=kar hine suy a=ranke wa	作ってまた下ろして
アエフ ふじゆう ないで	
aep HUZUYUU NAIDE	食べ物に不自由なく
オカアンペ アネーヒケ	
oka=an pe a=ne hike	私たちが暮らしていたところ
ネ マツネボ (咳) カムイ コ、エブン、	
(ne matnepo kamuy ko, epun,)	その娘は、
エブンキネ ヘー、カムイ マツネボー	
epunkine (HE,) kamuy matnepo	守り神の娘、
ピリカ マツネボー アンペ こんど	
pirka matnepo an pe KONDO	美しい娘がいたのだが

ネ わかいものウタラ シネッ
 ne WAKAIMONO utar sinep
 コラマスイ シリ アエラマン コロ
 koramasuy siri a=eraman kor
 アナンベ アネヒケ ネ ウヌウタリ
 an=an pe a=ne hike ne unu utari
 エラムオカイペネクス こんど
 eramuokay pe ne kusu KONDO
 ネー マッネボ
 ne matnepo
 おー、カムイネ アン したら
 (o, kamuy ne an SITARA
 ヘネ アエ、アエだか、
 hene ae, ae DAKA、)
 アイヌに バケタロワ キーヤッカ
 aynu NI BAKETARO WA ki yakka
 ウェン ノイネ イラムアンベネ
 wen noyne iram=an pe ne
 セコル ネワ こんど イワウノンノー
 sekor ne wa KONDO iwaw nonno
 セコル アロク、アレコレワ こんど
 sekor a=rekore wa KONDO
 イワウノンノネ アカルワ イサム
 iwaw nonno ne a=kar wa isam
 ネ マッネボ シネッキー ヒネ エ、
 ne matnepo si nepki hine
 ソンノ ビリカ カムイメノコ ネアッ
 sonno pirka kamuy menoko ne a p
 こんど イワウノンノ ソンノ ビリカ
 KONDO iwaw nonno sonno pirka
 いろの イワウノンノ アニ (咳払い) ネ
 IRO NO iwaw nonno (ani EHEN) ne
 アカルベネクス ネー カムイメノコ
 a=kar pe ne kusu ne kamuy menoko

〔人間の〕若者たちの一人

を好きになった様子を私は知って

いたところ、その〔守り神の〕母親たちも

わかってしまったために

その娘が

(カムイになったら

でも、アエ、アエだか、)

人間に化けていても

駄目なように私は思うのである

ということで「イワウ花」

と彼女に名前をつけて

イワウ花にされてしまった。

その娘はよく働いて

実に美しい神の娘であったのだが

イワウ花、本当に美しい

色のイワウ花に

変えられたので、そのカムイの娘が

イサムノ ネー ノンノ パテッ アンワ ス、	
isam no ne nonno patek an wa	いなくなつて、その花だけがあつて、
オルン ヘメシパアンコロ アヌカルワ	
orun hemespa=an kor a=nukar wa	そこへ私が登つて見て
サバハ アライ、ライバ ランケ (笑い) コロ	
sapaha a=rayraypa ranke kor	その頭をいつも撫でながら
ネー イキアナーイネ で、オカアナーイネ	
ne iki=an ayne DE, oka=an ayne	暮らしていると
こんど イ、イウォル オッタカ	
KONDO iwor or ta ka	こんどは沢 ⁽⁴⁷⁾ の方にも
ウサ コルコニ ウサ オカイベ	
usa korkoni usa okay pe	フキやいろいろなものが
ネー カムイ リクンカント ワ	
ne kamuy rikunkanto wa	そのカムイが天の世界から
アセレ、、のおかげで エネ は一、	
a=sere,, NO OKAGEDE ene	背負わせてくれたおかげでこのように
アヌカル エラムシカリッ	
a=nukar eramuskari p	見たこともなかったものを、
アエ エラムシカリッ チマキナ ネヤッカ	
a=eramuskari p cimakina ne yakka	食べたこともなかったものをウドとか
コルコニ ネヤッカ オビッタ	
korkoni ne yakka opitta	フキだとか全て
アエエラムシカリッ パーテッ キ オラ (咳)	
a=e eramuskari p patek ki ora	食べたこともないものばかりを運んで
ネ コタンコンニシバ ボホ エラム、	
ne kotan kor nispa poho (eramu,)	その村おさの息子
エラマス イ ネ スム アイコレ	
erasasuy ne sum a=i=kore	が好きになった、その油をくれた
コタン オルワ ネ マツネボ	
kotan or wa ne matnepo	村から、その娘が
トゥッカ レッカ アン オカイベネクス	
tup ka rep ka an okay pe ne kusu	二人も三人もいたので
ネー マツネボウタリ シネッ エアルキンーネ	
ne matnepoutari sinep earkinne	その娘たちの一人をととも

ネ わかいもの コラ、
 ne WAKAIMONO (kora,)
 コラマスイワ こんど
 koramasuy wa KONDO
 エクワ アン ルウェネ ヒネ こんど
 ek wa an ruwe ne hine KONDO
 マチヒに コル アボホ アユ、アン、
 macihi NI kor (a=poho ayu, an,)
 あにきのほう、キ、キヤンネクル
 ANIKI NO HOU, ki, kiyannekur
 っちゅうのか？
 TYUUNOKA?

〔聞き手：うん〕

は、マチヒネ コルヒネ
 macihi ne kor hine
 ソンノ ビリカメノコネツ、ネクス
 sonno pirka menoko (ne p,) ne kusu
 ユプテッカ キブネクスー はー、
 yuptek ka ki p ne kusu (HA,)
 アエピリカノ オラ ネー スプリー サムター
 a=epirka no, ora ne, nupuri sam ta
 オカウエン カムイウタル こんど
 oka wen kamuy utar KONDO
 カムイ ウタル ウイエブヌパワ
 kamuy utar uyepnupa wa
 ネ、ブンカルチセ ウファイワ イサムルウェネ、
 ne, punkar cise uhuy wa isam ruwe ne
 ヒネ キラヒケ キラ ペウレウタル
 hine kira hike kira pewre utar
 キラヒケ キラパ ヤッカ
 kira hike kirapa yakka
 きれいに ウファイワ イサム ルウェネー
 KIREINI uhuy wa isam ruwe ne⁽⁴⁹⁾

その若者が

好きになってから

〔魚油をとる村に〕来て

嫁さんにもらった⁽⁴⁸⁾

兄貴の方が

(というのか?)

嫁さんをもらって

実によい女だったので

よく働くので

私も裕福になって山のそばに

いた悪いカムイたちがこんど

カムイたちが言うことをきいて

そのツルの家が燃えてしまっ

て、逃げるものは逃げた。若いものたちが

逃げるものは逃げて

跡形もなく燃えてしまった

ネクス こんど ニッネ イナウ
 ne kusu KONDO nitne inaw⁽⁵⁰⁾
 ニッネ、シラリ アニー こんど
 nitne, sirari ani KONDO
 アオナハウタリー カムイノミ
 a=onahautari kamuynomi
 エネアンウェンプリ タパン イワウコタン
 "ene an wen puri tapan iwaw kotan
 イワウ ヌ、ヌプリ (咳払い) エチウエンテ
 iwaw nu, , nupuri eci=wente
 コタンカー ケムアン ノイ、ノ エチカラ
 kotan ka keman no eci=kar
 エチウエンプリ コルパ ヤッカ
 eci=wenpurikorpa yakka
 ウエンカムイ エチネヤッカー
 wen kamuy eci=ne yakka
 ラマツ エチコルペネクス
 ramat eci=kor pe ne kusu
 ニッネイナウ ニッネ さけアニ
 nitne inaw nitne (SAKE ani)
 シラリアニー ア チノミナ
 sirari ani aci=nomi na
 テワノ エネアン
 te wa no ene an
 ウエンプリ ソモ エチコンノ
 wen puri somo eci=kor no
 ビリカカムイネ エチオカワ (咳払い)
 pirka kamuy ne eci=oka wa
 は一、ビリカイナウ ビリカー サケアニ
 pirka inaw pirka sake ani
 アチノミ クニネ
 aci=nomi kunine
 エチイキ ナンコンナー セコル
 eci=iki nankor na" sekor

ので、それから粗末な御幣と
 コチコチの酒かすで
 私の父親たちがカムイに祈った。
 「このように悪い行ないでこのイワウ村と
 イワウ山にお前たちが被害を与えた。
 村も飢饉になるようにお前たちがした。
 お前たちが悪い行ないをしても
 悪い神がお前たちであったとしても
 魂をお前たちも持っているの
 粗末な御幣とコチコチの
 酒かすで祭られるのだぞ。
 これからはあのような
 悪い行ないをしないで
 良い神になって
 美しい御幣と美味しい酒で
 祈られるように
 するのだぞ」と

ハウエオカバコル ウェンノ ウェンノ

haweokapa kor wenno wenno

言いながら大雑把

ネヤッカ カムイノミバ、(笑い)

ne yakka kamuynomipa, ,

であってカムイに祈りを

キ ウエ、ワ ナ、ネカ、、

ki (ue, wa na, ne ka, ,)

捧げた。

ヌブリ エブンキネカムイ マツネボ

nupuri epunkine kamuy matnepo

山を守る神の娘が

エアルキンネ アイヌオシッコテ キワ

earkinne aynu osikkote ki wa

人間に熱烈な恋をして、

はじめて イワウノノノ セコル

HAZIMETE iwaw nonno sekori

はじめてイワウ花と

アレコレワ できたもの

a=rekore wa DEKITAMONO

名前をつけられたものが

ふくじゅそудとよ

HUKUZYUSOU DATOYO.

福寿草というのです。

4. 註

- (1) 本稿ではイワウ iwaw を固有名詞として扱う。松島さん自身はこの山の位置を知らないという。
- (2) 松島さんはこの村の名前を忘れたという。
- (3) 松島さんによると、「ポロコタン アネヒネ poro kotan a=ne hine という言い方もあるが、ここは「ポロコタン アンヒネ poro kotan an hine」と言いたかったところ」であるという。
- (4) 筆者は「a=po utari」と書いていたがモニターに教えられて「a=poutari」に修正した。
- (5) 松島さんによると、ポロシケ poro sike は「解体した獲物を運びやすくしたもの」のことであり、このように獲物に恵まれる人をアイヌパシタ aynupaksita 「いいなあ。なんも不自由しないで暮らして」という。
- (6) 『永田方正蝦夷語地名解』に「イワウ・ヌブリ iwau-nupuri 硫黄山」。山田秀三『北海道の地名』に知床半島の「硫黄山」の旧名を「イワウ・ヌブリ」、ニセコアンヌブリの近くにイワオ・ヌブリという山があることが記されている。
- (7) 当初、「アルコテルケ アルコサカヨカル arukoterke arukosakayokar」の「ル」の箇所にも母音をつけていなかったが、モニターに指摘されて松島さんから確認して修正した。
- (8) 松島さんによると、この神はアトイコカムイ atuy kor kamuy 「海の神」であるという。
- (9) 松島さんによると、ブンカラ チセ punkar cise とはヤマブドウのツルなどが木に絡まって屋根のようになった所であるという。
- (10) モニターの指摘により「ウエカラバヒアー uekarpa hi ya」から「ウエカラバ ヒアン uekarpa hi an」に修正した。松島さんから確認済み。
- (11) 「タップ tap」の訳を松島さんは「こんな」という。
- (12) 日本語で「若い者」と言おうとしたがアイヌ語に言い直したらしい。
- (13) 日本語の「もし MOSI」と勘違いしていたがモニターの指摘で松島さんから確認して修正した。
- (14) エナサケナイ e-nasakenay 【2項動詞】〜で情けない。＜日本語
- (15) 松島さんによると、このトゥ tu の意味はよくわからないが伝承元の語りの中でも付いていたという。筆者は虚辞として解釈した。
- (16) 松島さんによると「子どもが行くと化け物に食べられてしまうから行ったら駄目だという所」をエセマンヌア en esemannuan といい、山や崖、川や沼などの地形を形容する。音を一つずつ発音してもらうように頼むと、「ア、

- エ、セ、マン、ヌ、アン」と区切って発音した。日常会話で用いたという。
- (17) 松島さんによると、イコッキ *ikotki*「こぼむ(北海道方言:意地悪くする)」である。神が喧嘩した理由を「イワウ山を守る神は力があって偉い神様なので海の神様が嫉妬したため」という。イコッキ *ikokki* と聞こえるときもある。
- (18) 筆者が聞き取れない箇所であったが、モニターが「インカル ワ アナイネ *inkar wa an ayne*」の可能性があると指摘された。松島さんに確認するとその通りであった。
- (19) 「エーカッパカー」と聞こえるが、松島さんによると、エパカ *epa ka*「食べも」と言うべきところであるという。
- (20) ヤイエシッカラ *yayesirkar* の意味を松島さんは「今まで行かなかったところへ家を建てて移りすんだということ。住み着く。引越しする。家建てる、という意味。前から住んでいたときは言わない」という。
- (21) 松島さんによると、アエッ ラマチ *aep ramaci*「食物の魂」ということで山菜や穀物の種のことである。それ以外の食べ物にこともいえるかどうかは不明。
- (22) ウコソントイバ *uko-sontay-pa*【1項動詞】相談する。＜日本語
- (23) モニターの指摘により「cikasnukar a=i=kire 授けることをしてくれる」と知り、松島さんに確認した。
- (24) 松島さんによると「山へ着くのに若者でも半日ぐらいかかるほど体力があるので、老人には辛いから連れて行かないようにした」というような説明である。
- (25) 松島さんによると、マッ *mat*「女。妻」は言い差しである。
- (26) 松島さんの幼なじみの方からヌベ *nupe* と呼ぶ植物を見せてもらい、標本を持ち帰っていくつかの図鑑と照らし合わせると「アオヤギソウ」のように思われる。しかし、植物の専門家の同定は得ていないので、ここでは訳さない。
- (27) モニターの指摘により「a=erampewtek」から「a=erampewtek」に修正した。
- (28) ワケタロ *waketa-ro*【2項動詞】～を分ける。＜日本語
- (29) 松島さんによると「ネ *ne* はなくていい」ということである。
- (30) モニターの指摘により「食事をさせられたら」から「彼らが食事を与えられたら」に修正した。
- (31) この1行は前後の文脈に合わない一文であるが、松島さんから確認できていない。
- (32) 「ル、アナ」と聞こえるが松島さんから確認していない。
- (33) 「エチアッカリ」と聞こえるので松島さんに確認すると「イワウコタン オロワ エチアッカリ ワ サパンコロ *iwaw kotan or wa eci=apkas wa sapan?? kor* イワウ村からお前たちが歩いて下りると」の誤りだという。「サパン *sapan*」は「サッ *sap*」の言い差しの可能性がある。
- (34) 松島さんによると、エッコヤイクン *ekkoyaykus*「来るのが困難になるだろう」というのは「たくさんの油を貰うから、一人では重たくて運べない」という。
- (35) ウコナカイ *uko-nakai*【1項動詞】互いに仲がよい。＜日本語
- (36) ここからイワウ村の村おさからその息子に物語中の語り手が交替している。
- (37) アサンケ *a=sanke*「私がそれを出す」とすべきと思うが、人称接辞を接尾してしまっただけ。
- (38) モニターの指摘により「エラムテアン *eramte=an*」から「ラムトゥイアン *ramutuy=an*」と修正した。松島さんから確認済み。
- (39) 松島さんによると、このキツネの子どもたちが人間に被害を与えていた。この親キツネは悪さをしなかったが人間に怨まれて祭られなくなって痩せてしまったという。
- (40) モニターの指摘により「アクシネ *a=kus ne*」から「アクシネ *a=kus hine*」に修正した。
- (41) 松島さんさんの飼っているセキセイインコが頻繁に鳴き出したのでそれが録音されることを気遣った発言である。
- (42) 松島さんによると、キムンカム *kimun kam*「山の肉」と言うべきところを言い誤った。小獣類も含めたクマやシカ等の肉を指す。
- (43) 松島さんは他に「アエ エトクス ハウェネ *a=e etokus hawe ne*」と言って「食うにいい」と日本語訳をした。
- (44) 松島さんは「このキツネは悪いカムイである若いキツネたちの親である。しかし親キツネは何も悪いことをしていなかったで肉を与えた。」という主旨の説明をされた。
- (45) 松島さんによると、ポロシケ アセヒネ *poro sike a=se hine*「大きな荷物を私は背負って」と言うつもりだった。
- (46) テレ *tere*「～を待つ」は2項動詞なので人称接辞はアテレ *a=tere* の言い誤りの可能性がある。
- (47) 松島さんは「もう、どこにでもある沢にはえるようになったから、誰でも食べれるようになった」といい、いつも山菜を採りにいくような沢のことをイウォル *iwor* という。
- (48) モニターの指摘でアイヌ語と日本語訳の解釈を大きく修正した。
- (49) ここでは悪さをした若いキツネたちの家が燃やされるという罰を受けているが、3月26日におおまかなに物語の内容を聞いたときは、特に悪いことをしなかった親キツネは祭られているが悪さをした若いキツネたちはイワ

ウ山を守る神から毒草にされてしまったという内容であった。その毒草はトリカブトではない。ニリンソウより背が高く紫の花を咲かせるのだというのが今のところは不明。

- (50) 松島さんは「ニッネ イナウ nitne inaw「粗末な木幣」はフレ アユシニ hure ayusni「赤いとげの木」というタランボのイナウニネ inawneni「木幣になる木」で悪い神様にやるもの。これくらい意地の悪い木はない。とげ皮のついた棒は悪いものが悪い時のお払いに使う。イナウ inaw「木幣」にしたものは剥いた皮は年寄りがすぐに燃やすのを見た」という。捧げるために樹皮を剥いて木幣に用いたり、魔除けのために樹皮を残した棒状のものを用いたりする。